

Windows 対応

Pan-Mark™ 印字ソフトウェア

取扱説明書

(部品番号：PROG-WIN2CD)

パンドウイトコーポレーション日本支社

Pan-Mark for Windows

User's Guide

Version 2.5

Copyright © Panduit Corp. 1998, All Rights Reserved

COPYRIGHT NOTICE

Copyright © 1998 Panduit Corp. All rights reserved. No part of this publication may be reproduced, transmitted, transcribed, stored in a retrieval system, or translated into any language or computer language, in any form or by any means, electronic, mechanical, magnetic, optical, chemical, manual or otherwise, without the prior written permission of Panduit Corp., 17301 Ridgeland Avenue, Tinley Park, IL 60477-0981.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND

Use, duplication or disclosure by the Government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 52.277-7013.

TRADEMARKS

Microsoft Access, Microsoft Office, and Microsoft Excel are registered trademarks of Microsoft Corporation.

Microsoft Windows, Microsoft Windows for Workgroups, and Windows NT are trademarks of Microsoft Corporation.

dBASE is a registered trademark of Borland International, Inc.

Pan-Mark is a registered trademark of Panduit Corporation.

CONTENTS

第1章 Windows 対応 Pan-Mark のインストール

インストールの手順	6
頻繁に使用するラベルフォーマットの選択	9

第2章 Windows 対応 Pan-Mark の主な内容

Windows 対応 Pan-Mark の操作環境	14
マウスの使用	14
マウスの右ボタンの使用	15
キーボードの使用	16
ショートカットの使用	17
Pan-Mark ウィンドウの名称	18
メニューバー	19
ツールバー	20
1. スタンダードバー	20
2. 移動バー	21
3. 位置調整バー	21
4. ズームバー	22
5. アイテムバー	23
6. ドキュメントバー	24
7. ステータスバー	24

第3章 メニューバーの主な内容

ファイルメニュー	26
1. New ー新規ラベルを作成する	26
2. Open ー既存ラベルを開く	28
3. Close ーラベルを閉じる	28
4. Save ーラベルを上書きする	28
5. Save as ー新しい名前をつけてラベルを保存する	28
6. Print ーラベルを印刷する	28

フォーマットメニュー	34
1. New - 新しいラベルフォーマットを作成する	34
2. Open - 既存ラベルフォーマットを開く	36
編集メニュー	38
1. Cut - アイテムをカットする	38
2. Copy - アイテムをコピーする	39
3. Paste - アイテムを貼り付ける	40
4. Delete - アイテムを削除する	40
ビューメニュー	41
1. Label Text - ラベルテキスト機能	42
2. Zoom - ズームオプション	43
フォントメニュー	44
1. Typeface - フォントスタイルを選択する	44
2. Color - 前面／背景の色を選択する	44
3. Rotate - テキストを回転させる	45
アイテムメニュー	46
◆アイテムを選択・配置する	46
◆重なっているアイテムについて	48
◆テキストアイテムを編集する	50
◆アイテムを移動する	50
◆アイテムのサイズを変更する	50
レイアウトメニュー	52
1. Align - アイテムの左右上下の位置調整	52
2. Center - アイテムのセンターリング	52
3. Size - 2つ以上のアイテムの大きさを揃える	53

ラベルメニュー	54
1. Properties ラベルフォーマットのプロパティを開く	54
2. Move to ー他のラベルへ移動する	54
3. Insert ーラベルを挿入する	55
4. Remove ーラベルを削除する	57
オプションメニュー	59
1. Units ールーラーの単位を選択する	59
2. Cut mark ー切り取り線を設置する	59
3. ODBC Administrator ー外部データベースへ接続する	60
ウインドウメニュー	63
1. New Windows ー新しいウィンドウを開く	63
2. Arrange Icons ーウィンドウを整理する	64

第4章 ラベルに入力

テキストを入力する	68
イメージアイテムを挿入する	75
ライン（線）を挿入する	78
連続番号を作成する	80
現在の日付を挿入する	83
現在の時刻を挿入する	86
ODBC によって外部データを挿入する	89
Input ダイアログボックスを使ってデータを印字する	92
バーコードを作成する	96
ヘルプメニュー	100

付 録

1. コマンドメニューの一覧表	102
2. Wire Markers（ワイヤーマーカー）の作成	103
3. Pan-Mark2.14 以前のファイルのコンバート	107

第1章

Windows対応 Pan-Markの インストール

この章の内容

インストールの手順

頻繁に使用するラベルフォーマットの選択

インストールの手順

Pan-Mark をインストールする前に

- ◆すべてのプログラムを終了します。
- ◆ハードディスクに最低 34MB の空容量を確保してください。
- ◆これからの作業の為、本製品のシリアル番号を書き留めておいてください。

PROG-WIN2CD をインストールするには

- 1 [スタート]・[設定] を順にクリックして、[コントロール パネル] を選び、[アプリケーションの追加と削除] を選択します。
- 2 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」のウィンドウにある [セットアップ] をクリックしてください。
- 3 CD-ROM ドライブに PROG-WIN2CD の CD-ROM を入れてください。
しばらくすると Welcome 画面が表示されます。



[Next] をクリックしてください。

- ④ [User Information] のウィンドウが表示されます。お名前、会社名及びシリアル番号を入力してから、[次へ] をクリックしてください。



シリアル番号は、Windows 対応 Pan-Mark 製品が入っている封筒と箱の外側に貼ってあるラベルに書かれています。

User Information

Please enter your name, the name of the company for whom you work and the product serial number.

Name: Sara

Company: Panduit Japan

Serial:

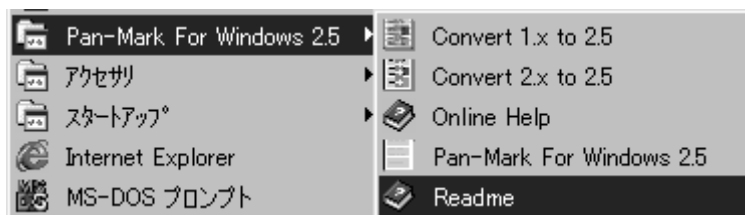
< Back Next > Cancel

- ⑤ Windows 対応 Pan-Mark を「C:¥PMWIN」フォルダにセットアップする場合、「C:¥PMWIN」のフォルダ名を確認し、[Next] をクリックし、画面の指示に従って操作してください。

違うフォルダにセットアップする場合、その場所を指定し [Next] をクリックし、画面の指示に従って操作してください。

⑥ セットアップが完了したら、次の画面が表示されます。

[Finish] をクリックし、パソコンを再起動してください。

⑦ パソコンが再起動した後、自動的に Pan-Mark For Windows 2.5 の項目がプログラムフォルダに加えられます。この項目の中にある Read me ファイルを確認することをお勧めします。Read me ファイルは、Windows 対応 Pan-Mark に関する重要な事項を含んでいます。

これでインストールが終了しました。

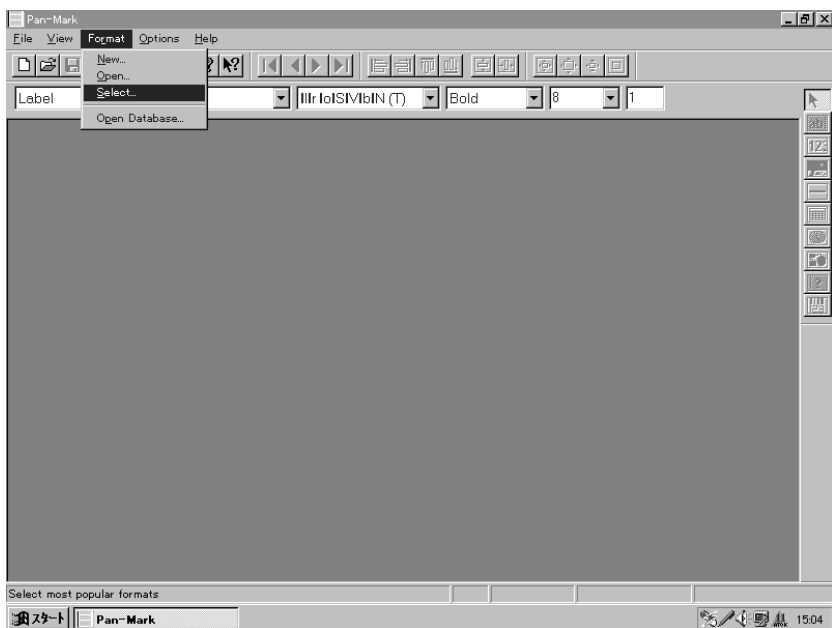
頻繁に使用するフォーマットの選択

通常、よく使うラベルは、Windows 対応 Pan-Mark に登録されている数百種類の中の10から20ラベル程度です。

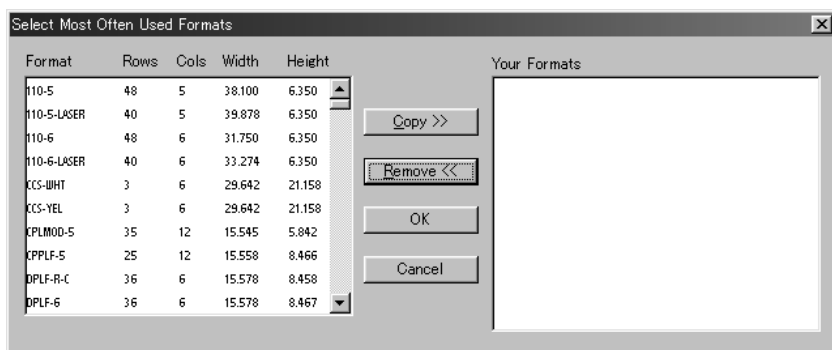
頻繁に使用されるラベルのフォーマットを選んで、Pan-Mark ウィンドウから直接引き出せるラベルのショートリストを作ると、フォーマット選択時に全てのリストを検索せずに、ラベルを選択することができます。

その手順は、次の通りです。

- 1 Pan-Mark ウィンドウに、ラベルが登録されていない状態で、メニューバーから [Format] (フォーマット) をクリックし、ドロップダウンメニューの [Select] (選択) をクリックします。



[Select Often Used Format] (頻繁に使用するフォーマット) ウィンドウが開き、Windows 対応 Pan-Mark に登録されているラベルフォーマットのリストが表示されます。



② これから、頻繁に使用されるラベルのフォーマットをクリックします。

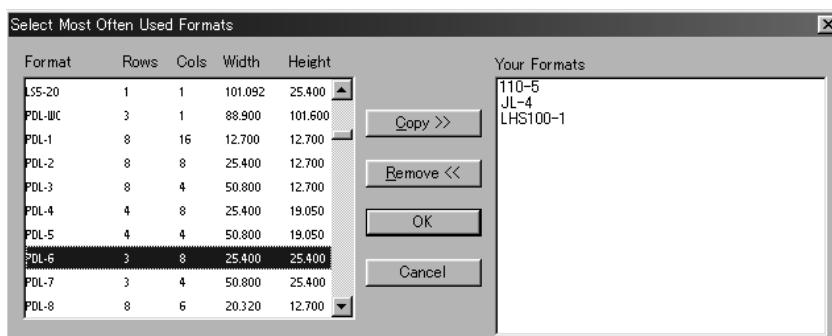
連続している複数のフォーマットを一度に選択するには：

- ・ [Shift] キーを押しながら、例えば、PDL-5 と PDL-8 の 2 つの型番をクリックします。これで PDL-6 と PDL-7 も同時に選ばれます。または、必要なフォーマット上でマウスの左ボタンを押しながら、ドラッグします。

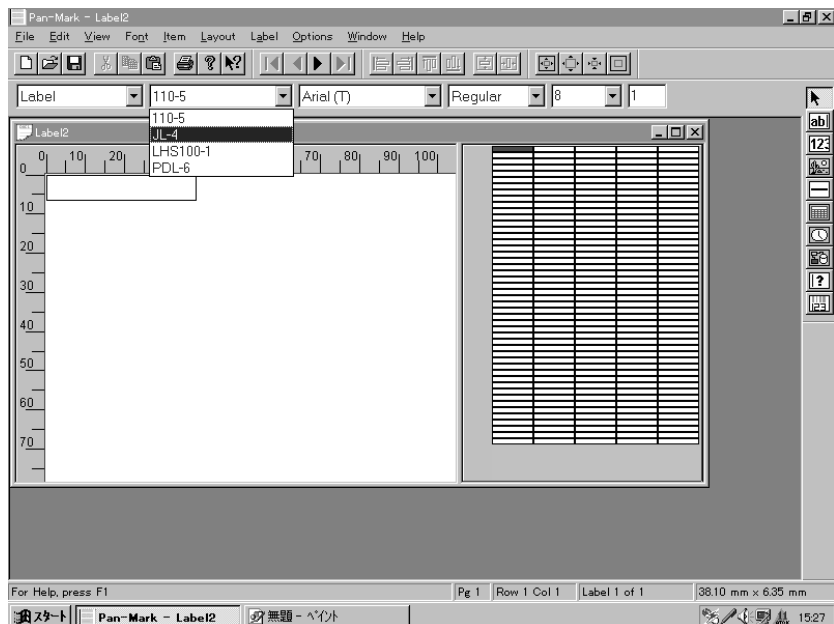
連続していないフォーマットを一度に選択するには：

- ・ [Ctrl] キーを押しながら、必要なフォーマットをクリックします。

③ [Copy] をクリックして、右側のボックスに選ばれたフォーマットが表示されます。



- ④ 必要なフォーマットを選び終えたら、[OK] をクリックし、このウィンドウを終了します。
選択したフォーマットがPan-Markのウィンドウから直接に使えるようになります。



これで Windows 対応 Pan-Mark を使用する準備ができました。

第2章

Windows対応 Pan-Markの 主な内容

この章の内容

Windows 対応 Pan-Mark の操作環境

マウスの使用

マウスの右ボタンの使用

キーボードの使用

ショートカットの使用

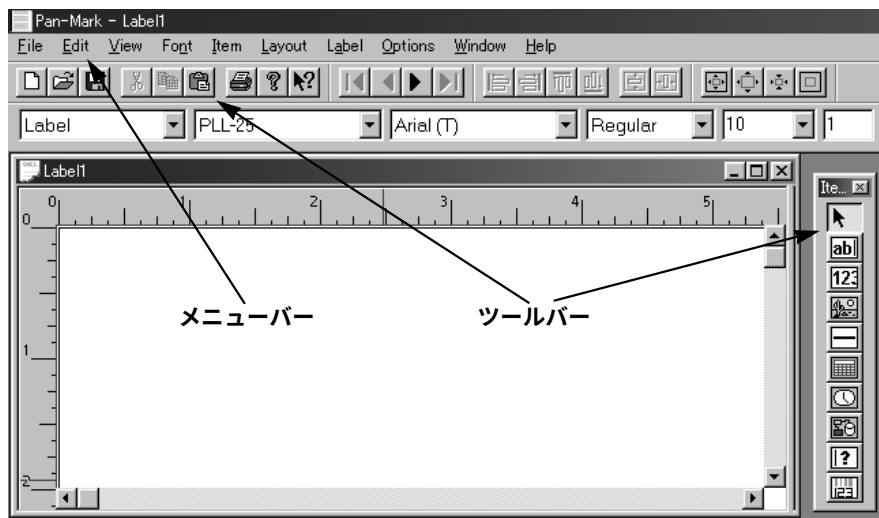
メニューバー

ツールバー

Windows 対応 Pan-Mark の操作環境

他の Windows 対応のソフトウェアと同様に、Windows 対応 Pan-Mark もメニューやコマンドを実行する際に、メニューボックスやダイアログボックスを使用しています。

- ◆コマンドはドロップダウンメニューに表示されます。
- ◆メニューバーの下に、ドロップダウンメニューが表示されます。
- ◆よく使われるコマンドのアイコンは、ツールバーに表示しています。



コマンドを実行するには、適切なアイコンをクリックしてください。

マウスの使用

選択を行うには、マウスのポインター（矢印）を必要なメニュー、またはコマンドに移動し、マウスの左ボタンを押します。

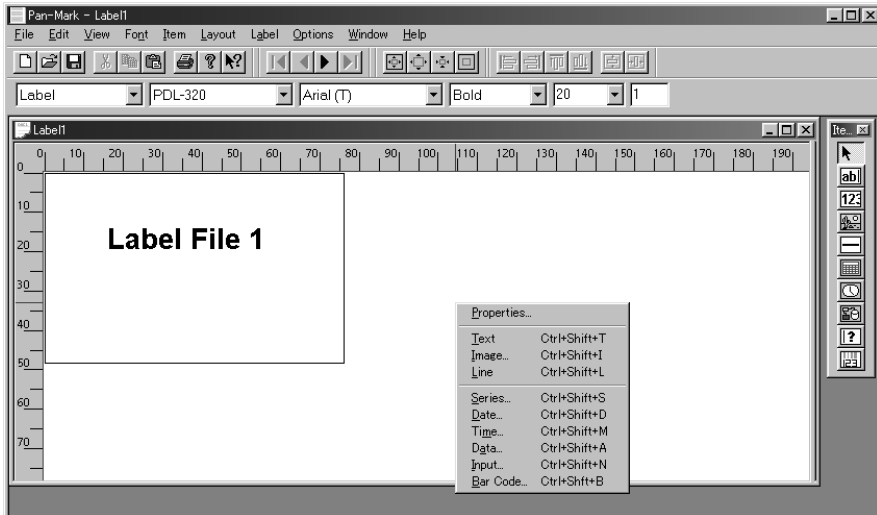
このマウスのボタンを押す動作は、クリックと呼ばれます。

リストでの作業中に選択を行う時は、以下のどちらかの動作を行ってください。

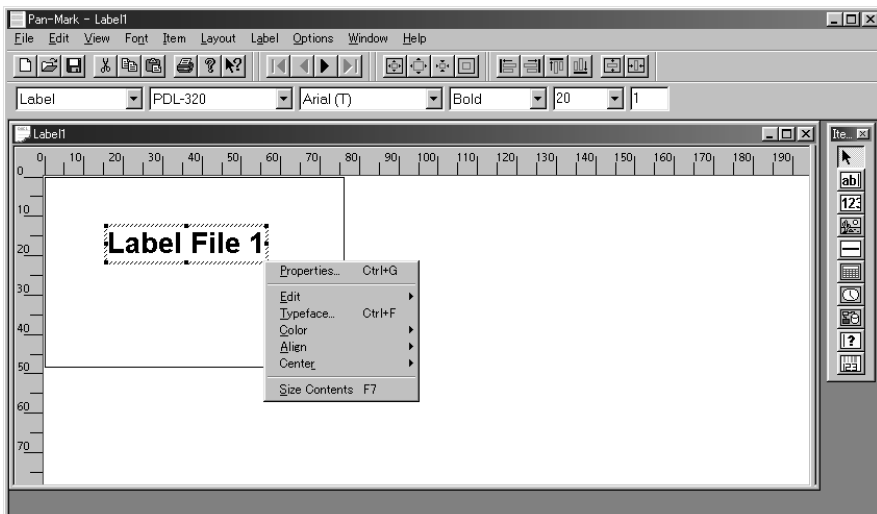
- ◆リストエントリで1回クリックを行い、[OK] ボタン等の確認をクリックします。
- ◆リストエントリをダブルクリックします。

マウスの右ボタンの使用

ラベルが開いている時、アイテムの領域外の所でマウスの右ボタンをクリックすると、アイテムメニューが表示されます。



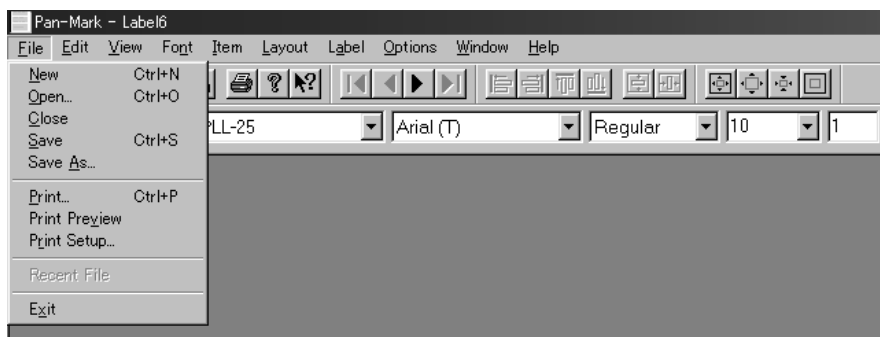
ラベルの中でアイテムが領域表示された時、マウスの右ボタンをクリックすると、アイテムプロパティーやアライメント (位置調整) のポップアップメニューが表示されます。



キーボードの使用

キーボードを使用してメニューバーから選択を行う場合、[Alt] キーを押しながらメニュータイトルのアンダーラインのある文字を押してください。

例えば、[File] (ファイル) メニューを開くには、[Alt] キーと [F] キーを同時に押してください。



ドロップダウンメニューから選択を行う場合は、コマンドのアンダーラインのある文字を押してください。

例えば、ファイルメニューの [Print SetUp] (プリンタの設定) では [R] キーを押してください。

ショートカットの使用

いくつかのコマンドを入力するのに、ショートカットを使用するとメニューを開くことなく、またマウスを使用しなくても迅速に行えます。

例えば、次のどちらの方法でもラベルを開くことができます。

- ◆メニューバーの [File] (ファイル)、[Open] (オープン) を順にクリックします。
- ◆[Ctrl] キーを押しながら [O] 押してください。([Ctrl] + [O])

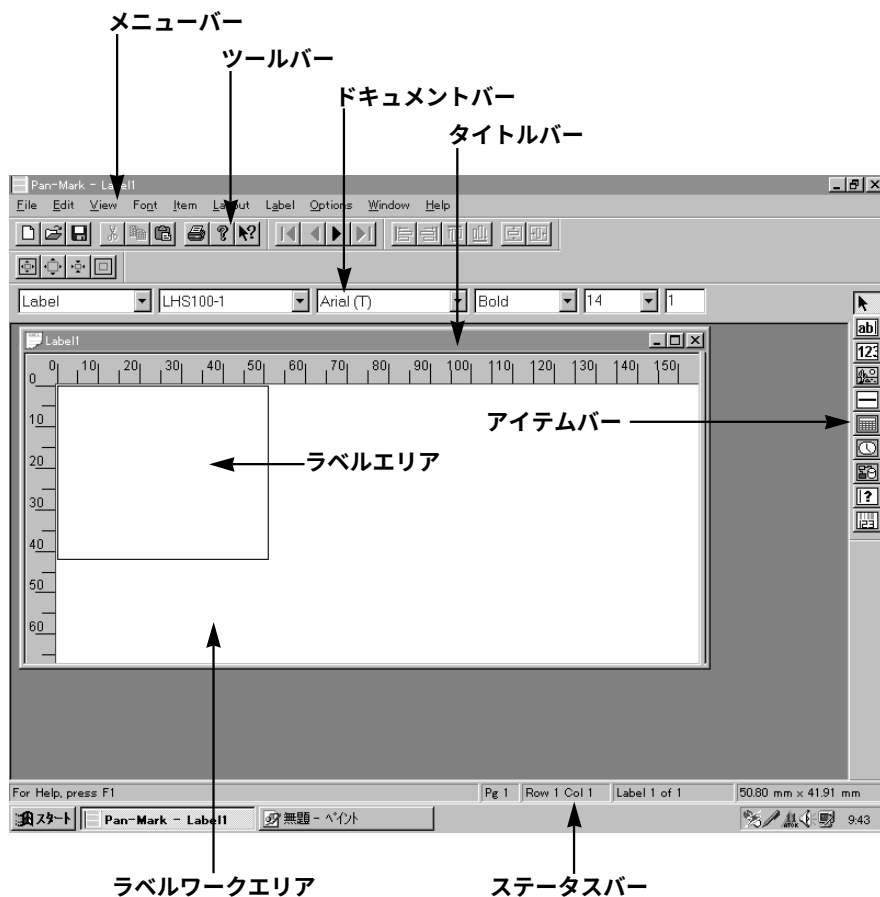
この取扱説明書では、マウスやショートカットの使い方を両方説明していますが、どちらか使いやすい方法をご利用ください。

Windows 対応 Pan-Mark のショートカットの一覧表は、以下の通りです。

Ctrl + N	新規作成
Ctrl + O	ラベルダイアログボックスを開く
Ctrl + S	ラベルファイルの保存
Ctrl + P	印字
Ctrl + X	テキストの切り取り
Ctrl + C	テキストのコピー
Ctrl + V	テキストの貼り付け
Del	テキストの削除
Ctrl + F	フォントタイプフェースの選択
Ctrl + G	ラベルプロパティのアクセス
Ctrl + F4	ラベルを閉じる
F1	ヘルプ
F7	選択されているラベルエリアを最小化する、または選択されたグラフィックを元のサイズに戻す
Ctrl +	ズームイン
Ctrl -	ズームアウト
Ctrl + Shift + T	テキストの挿入
Ctrl + Shift + I	イメージの挿入
Ctrl + Shift + L	ラインの挿入
Ctrl + Shift + S	連番の挿入
Ctrl + Shift + D	現在の日付の挿入
Ctrl + Shift + M	時間の挿入
Ctrl + Shift + A	ODBC によって外部データの挿入
Ctrl + Shift + S	オペレータインポート

Pan-Mark ウィンドウの名称

Windows 対応 Pan-Mark ウィンドウの名称は、以下の通りです。



メニューバー

メニューバーは、Windows 対応 Pan-Mark のメニュータイトルを表示します。

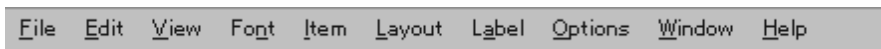
Windows 対応 Pan-Mark を実行すると、下記のメニューバーが開きます。



任意のメニューバーをクリックすると、それに関連したドロップダウンメニューが表示されます。



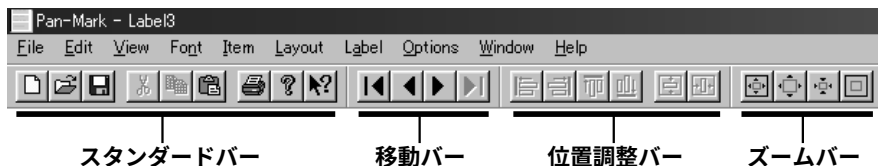
指定したラベルの新規作成を実行すると、メニューバーが次のように変わります。



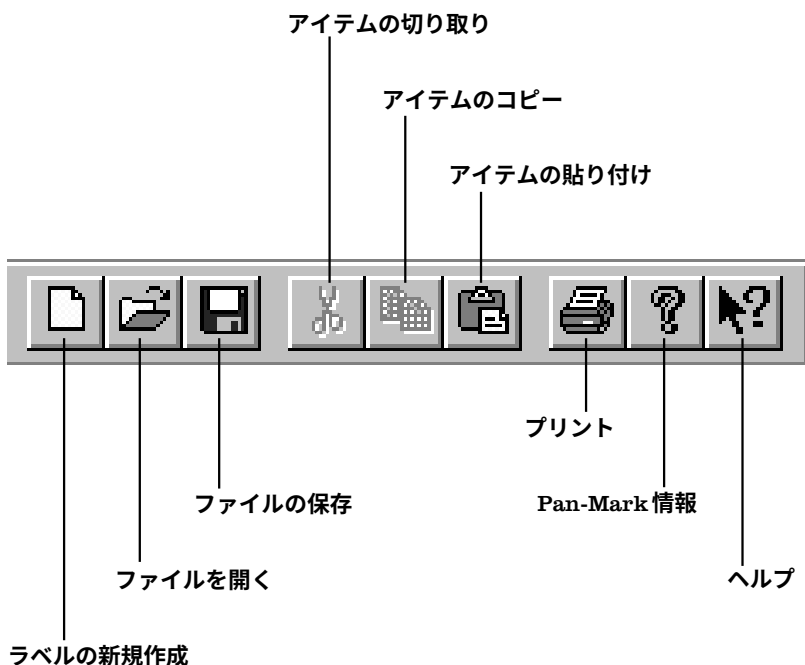
ツールバー

Windows 対応 Pan-Mark に 5 つのツールバーがあります。

最初の 4 つのツールバーはメニューバーのすぐ下にあります。

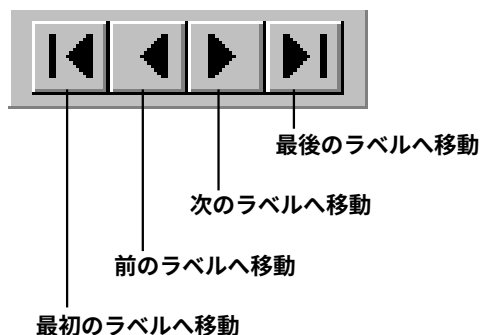


1. スタンダードバー



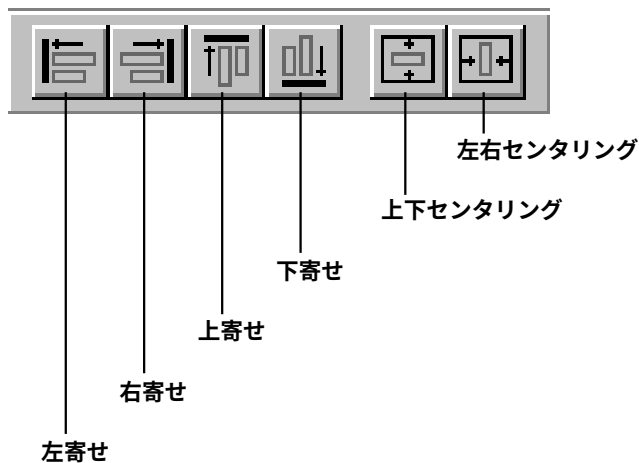
2. 移動バー

移動バーは、ラベルを素早く移動する時に使用します。



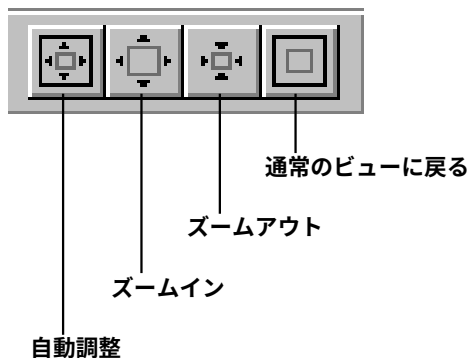
3. 位置調整バー

位置調整バーは、ラベルの中で素早くアイテムの位置調整を可能にします。



4. ズームバー

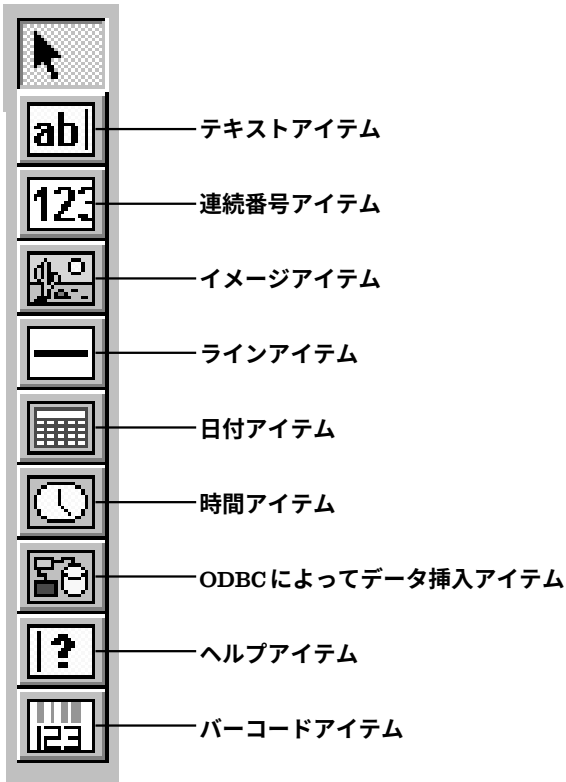
ズームバーは、ラベルのウィンドウ中で入力中のラベルのサイズを調整します。



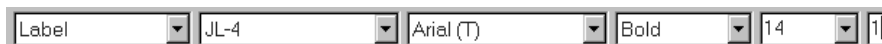
注：ズームバーでのサイズ調整は、画面上でのみ適応される機能であり、
印字されたラベルには何の効果ももたらしません。

5. アイテムバー

アイテムバーは、Pan-Mark ウィンドウの右側に縦に表示されます。このアイテムバーは、ラベルアイテムを素早く挿入することを可能にします。



6. ドキュメントバー



ドキュメントバーは、左から右へ次のような情報を表示します。

- 現在のドキュメントの種類：ラベル、ワイヤーマーカー、またはパイプマーカー
- 現在のラベルフォーマット。他のラベルを選ぶには、矢印をクリックし、ドロップダウンリストの中に、変更したいラベルをクリックします。
- 現在のテキストフォント。他のフォントを選ぶには、矢印をクリックし、ドロップダウンリストの中に、変更したいフォントをクリックします。
- 現在のテキストのスタイル。他のスタイルを選ぶには、矢印をクリックし、ドロップダウンリストの中に、変更したいスタイルをクリックします。
- 現在のフォントサイズ。他のフォントサイズを選ぶには、矢印をクリックし、ドロップダウンリストの中に、変更したいサイズをクリックします。または、フォントサイズボックスの中でクリックをし、変更したいサイズを入力します。
- 現在のラベル番号。1つのファイルに2つ以上のラベルがある場合には、ドキュメントバーの最後にあるボックスをクリックして、表示させたいラベルの番号を入力すると、そのラベルが表示されます。

7. ステータスバー



ステータスバーは、左から右へ次の情報を表示します。

- ラベルのページ数
- ラベルの行、列番号
- 現在のラベル番号
- ラベルの幅と高さ

第3章

メニューバーの 主な内容

この章の内容

ファイルメニュー

フォーマットメニュー

編集メニュー

ビューメニュー

フォントメニュー

アイテムメニュー

レイアウトメニュー

ラベルメニュー

オプションメニュー

ウィンドウメニュー

ファイルメニュー

ファイルメニューには、次のコマンドが含まれています。

1. New —新規ラベルを作成する
2. Open —既存ラベルを開く
3. Close —ラベルを閉じる
4. Save —ラベルを上書きする
5. Save As —新しい名前をつけてラベルを保存する
6. Print —ラベルを印刷する
7. Print Preview —プレビューを見る
8. Print Setup —プリンタを設定する
9. Exit —Pan-Markを終了する

＊ ＊ ＊

1. New — 新規ラベルを作成する

新規ラベルを作成する前に、ドキュメントタイプの確認とラベルフォーマットの選択をしなければなりません。即ち、

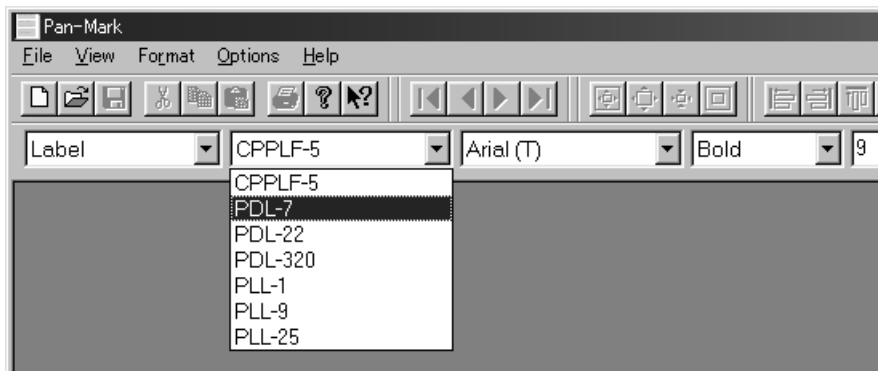
まず、ドキュメントタイプを確認します。

Windows 対応 Pan-Mark ソフトには、ラベル、ワイヤーマーカー及びパイプマーカの三種類のドキュメントタイプがあります。ラベルタイプが初期設定されています。初期設定を変更するには、ドキュメントタイプボックスの矢印をクリックし、ドロップダウンリストにあるワイヤーマーカー、またはパイプマーカをクリックしてください。

次にラベルフォーマットを選択します。

このソフトをインストールした直後に、頻繁に使用するラベルフォーマットの選択を行ったため（9ページをご参照ください）、フォーマットボックスにすでにラベルフォーマットが登録されているとします。

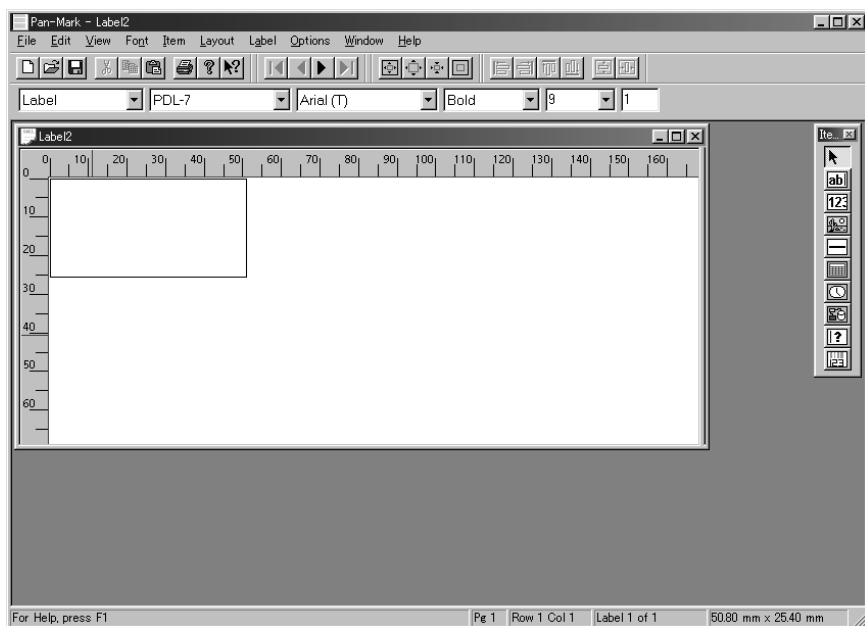
フォーマットボックスの矢印をクリックし、ドロップダウンリストからこれから使うラベルをクリックしてください。 例）PDL-7



新規作成を実行するには

- ・ [File] (ファイル)、[New] (新規作成) を順にクリックしてください。
または、
- ・ スタンダードバーにある  をクリックしてください。

新しいラベルのウィンドウが表示されます。



2. Open — 既存ラベルを開く

- ① [File] (ファイル)、[Open] (開く) を順にクリックしてください。
または、スタンダードバーの中にある [Open] (開く) ボタンをクリックしてください。
- ② 「開く」ダイアログボックスを開いたら、開きたいファイル名をダブルクリックしてください。

3. Close — ラベルを閉じる

[File] (ファイル)、[Close] (閉じる) を順にクリックしてください。

4. Save — ラベルを上書きする

- [File] (ファイル)、[Save] (保存) を順にクリックしてください。
または、
- ツールバーにある [Save] (保存) アイコンをクリックしてください。

5. Save As — 新しい名前をつけてラベルを保存する

- ① [File] (ファイル)、[Save As] (保存) をクリックします。
- ② ラベルのファイル名を入力する。ファイル名を入力すると、ドキュメントタイプに基づいて拡張子が自動的に付けられます。
例) ラベルの場合 *****.LBL
 ワイヤーマーカー *****.WIR
 パイプマーカー *****.PIP
- ③ [OK] をクリックしてください。

6. Print — ラベルを印刷する

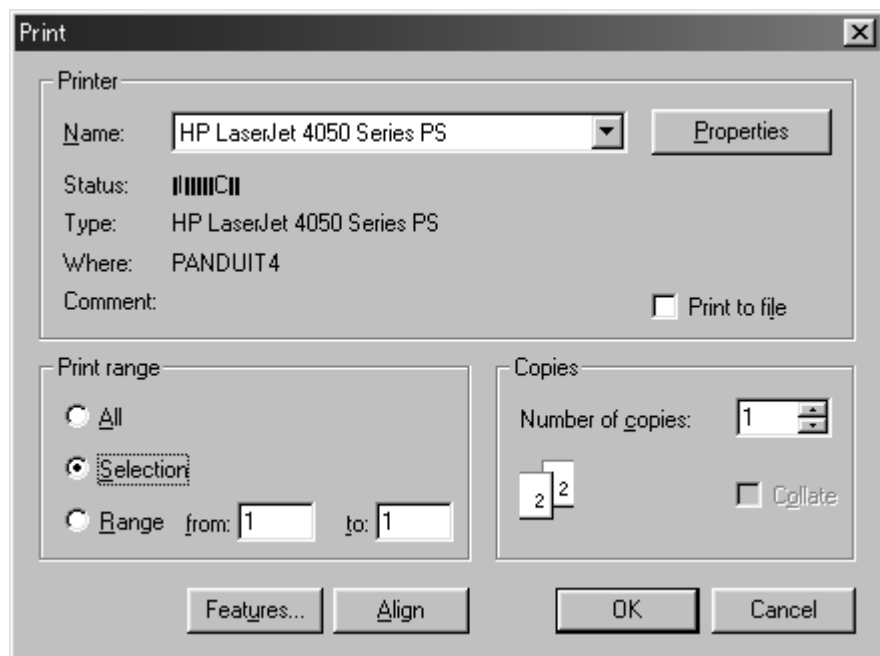
印字に関しては、ファイルメニューに3種類のオプションがあります。

(1) Print (印字)

印字範囲や、印字するラベルなど印字に関する機能を設定します。

プリンタ、用紙サイズ、用紙種類などのプリンタ関連機能も設定することができます。

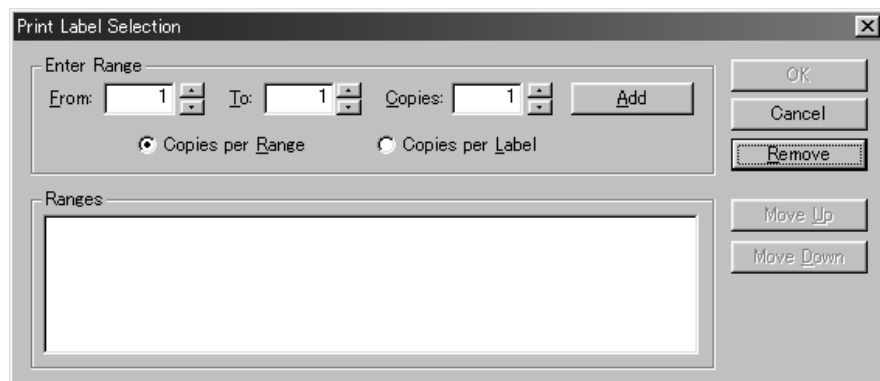
[File] (ファイル)、[Print] (印字) を順にクリックすると、プリントラベルダイアログボックスを開きます。



このダイアログボックスの中にある主な項目について説明します。

- **Print Range (印字範囲) 中の Selection (選択)**

[Selection] (選択) をクリックすると、次のダイアログボックスが表示されます。



ここで、次の例を挙げて説明をします。

例) 50枚のラベルにそれぞれのアイテムを入力し、ラベルファイルを作成済みとします。
印字の仕様は、次のようになります。

- ・ 1枚目から9枚目まで、1枚ずつ印字します。
- ・ 21枚目から50枚目まで、1枚ずつ印字します。
- ・ 40枚目から50枚目まで、1枚ずつ印字します。

操作手順は、下記の通りです。

- ① 「From」の所に「1」を、「To」の所に「9」を、「Copy」の所に「1」を順に入力し、[Add]（追加）をクリックしてください。
- ② 「From」の所に「21」を、「To」の所に「50」を、「Copy」の所に「1」を順に入力し、[Add]（追加）をクリックしてください。
- ③ 「From」の所に「40」を、「To」の所に「50」を、「Copy」の所に「1」を順に入力し、[Add]（追加）をクリックしてください。

入力の結果は、次のように表示されます。

Print Label Selection

Enter Range

From: 40 To: 50 Copies: 1 [Add]

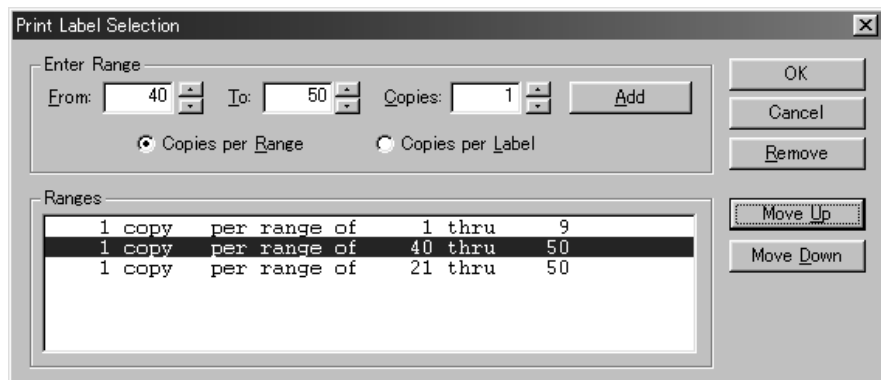
☒ Copies per Range ☐ Copies per Label

Ranges

1 copy	per range of	1 thru	9
1 copy	per range of	21 thru	50
1 copy	per range of	40 thru	50

[OK] [Cancel] [Remove] [Move Up] [Move Down]

- ④ 印字されるラベルの順序を変更する場合、変更したい範囲を選択し、リストの中で上へもっていきたい場合 [Move Up]（上へ移動）を、または下にもっていきたい場合 [Move Down]（下へ移動）をクリックしてください。

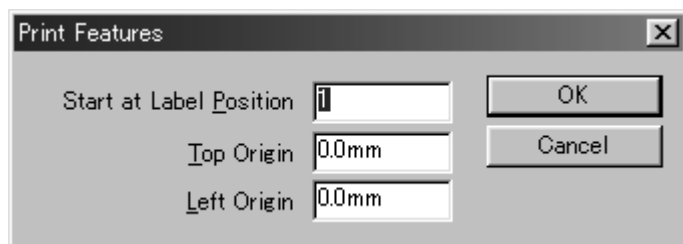


例えば、40番目から50番目までのラベルをリストの上に置きたいとしたら、その範囲を選択してから [Move Up] をクリックします。

- ⑤ [OK] をクリックして、Print Label Selection ダイアログボックスを終了します。
- ⑥ Print (印字) ダイアログボックスにある [OK] をクリックして、選択されたラベルを印字します。

• Features (機能)

[Feature] (機能) をクリックして Print Feature (印字機能) ダイアログボックスを開きます。



このダイアログボックスには2つの機能があります。

① Start at Label Position (ラベル使用開始位置)

この機能は、使いかけのラベルシートを途中から使用する為に使います。例えば、50枚のラベルがついているラベルシートの最初の15枚を使用し、残りのシート上のラベルを使用するには、スタート位置 (Start at Label Position) に16を入力してください。



レーザープリンタの場合、印字中内部は高温になります。この場合、ラベルシートが何回もプリンタを通過すると、ラベルの裏側についている接着剤がとけだしてラベルがプリンタの内部で剥がれることがありますので、ご注意ください。

② Top Origin (上余白)、Left Origin (左余白)

これは、プリンタ印字の開始位置を調整するために使われます。プリンタによっては、ラベルシートの縁から異なった紙送りスペースが必要となります。(通常は1/8インチから3/8インチ)



- ・ 印字の位置が上寄せすぎた場合は、Top Origin (上余白) に適当のマージンを入れて印字位置を下へ下げます。
- ・ 印字の位置が左に寄りすぎた場合、Left Origin (左余白) に適当のマージンを入れて印字位置を右へ移動させます。
- ・ 反対の方向に印字位置を移動させたい場合、適当なマージンのマイナスの数値を入力してください。

・ Align (位置調整)

[Align] (位置調整) をクリックすると、ラベルレイアウトが自動的に印字されます。印字する前に、印字位置の調整にこの [Align] (位置調整) 機能を使用してください。

(2) Print Preview (印字プレビュー)

このオプションは、ラベルシート上でラベルと印字内容がどのようにレイアウトされているかを表示します。

[File] をクリックし、次に [Print Preview] (印字プレビュー) をクリックしてください。

(3) Print Set Up (プリンタの設定)

このオプションは、プリンタ、用紙サイズ及び用紙種類などのプリンタ関連機能を設定します。

[File] (ファイル)、[Print Set Up] (プリンタの設定) をクリックし、プリンタの設定ダイアログボックスを開きます。



印字する前に、用紙のサイズを確認して下さい。間違った用紙サイズが設定されてしまうと、ラベルに一部しか印刷されないことがあります。

フォーマットメニュー

フォーマットメニューには、次のコマンドが含まれています。

1. New — 新しいラベルフォーマットを作成する
2. Open — 既存のフォーマットを開く
3. Select — 頻繁に使用するフォーマットを選ぶ
4. Open Database — 既存のラベルデータベースを開く

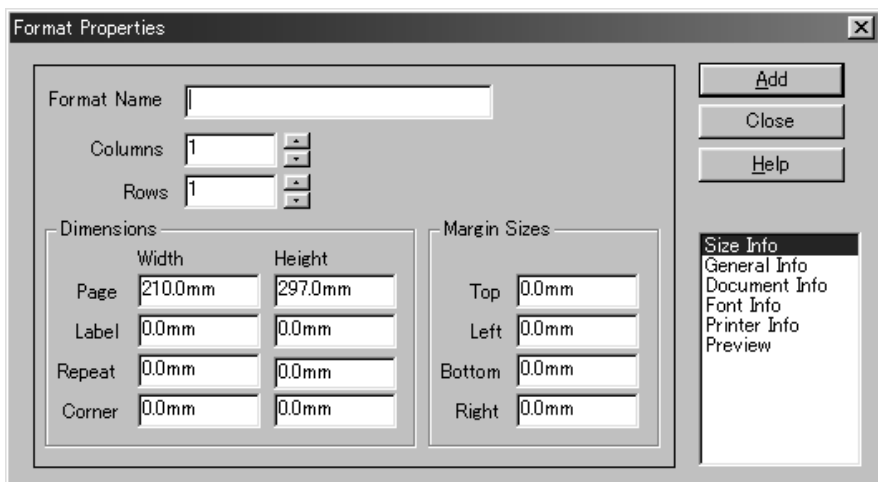
* * *

1. New — 新しいラベルフォーマットを作成する

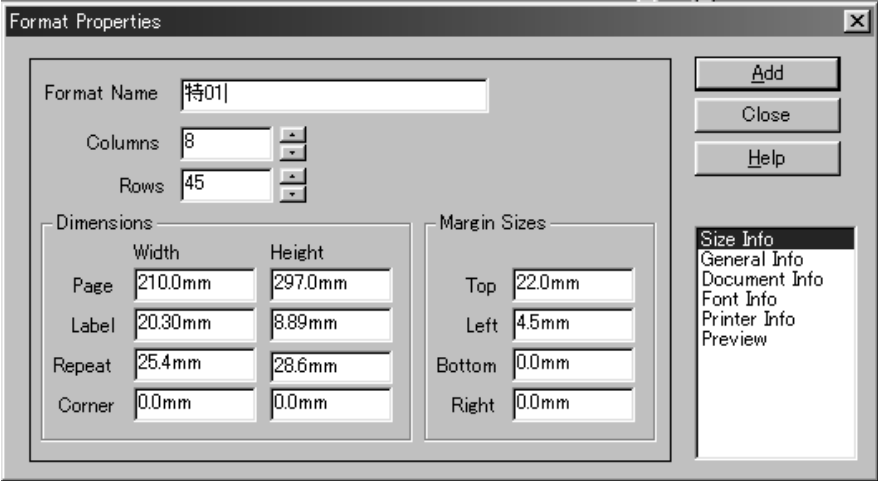
本ソフトでは、お客様ためのカスタムラベルフォーマットを作成することができます。

新しいラベルフォーマットを作成するには

- ① すべての開かれているラベルを閉じてください。
- ② [Format] (フォーマット)、[New] (新規作成) を順にクリックし、Format Properties (フォーマットプロパティ) のダイアログボックスを開きます。



- ③ 新しいラベルフォーマットの名前、ラベルのサイズ、マージンサイズを入力してください。



The image shows a 'Format Properties' dialog box with a close button in the top right corner. The dialog is divided into several sections:

- Format Name:** A text field containing '特01'.
- Columns:** A spin box set to '8'.
- Rows:** A spin box set to '45'.
- Dimensions:** A table with two columns: 'Width' and 'Height'.
- Margin Sizes:** A table with one column and five rows: 'Top', 'Left', 'Bottom', and 'Right'.
- Buttons:** 'Add', 'Close', and 'Help' buttons are located on the right side.
- Size Info:** A list box on the bottom right containing 'General Info', 'Document Info', 'Font Info', 'Printer Info', and 'Preview'.

	Width	Height
Page	210.0mm	297.0mm
Label	20.30mm	8.89mm
Repeat	25.4mm	28.6mm
Corner	0.0mm	0.0mm

Top	22.0mm
Left	4.5mm
Bottom	0.0mm
Right	0.0mm

2. Open — 既存のラベルフォーマットを開く

このオプションでは、既に作成済みのラベルフォーマットを開くことができます。

- ・フォーマットの適性を確認できます。
- ・保護されていないフォーマットの編集ができます。



フォーマットプロパティがグレーで表示されている場合、フォーマットは保護されており編集できません。

既存のフォーマットを開く

- ① 開いているラベルをすべて閉じてください。
- ② [Format] (フォーマット)、[Open] (開く) を順にクリックすると、Format Properties (フォーマットプロパティ) のダイアログボックスが表示されます。

Dimensions		
	Width	Height
Page	85.09mm	30.48mm
Label	25.4mm	12.7mm
Repeat	27.305mm	15.24mm
Corner	0.7874mm	0.7874mm

Margin Sizes	
Top	0.0mm
Left	2.54mm
Bottom	0.0mm
Right	2.54mm

- ③ 他のフォーマットを開くには、[Format Name] (フォーマット名) の所で矢印をクリックし、フォーマットのドロップダウンリストを表示します。

- ④ 必要なフォーマットをクリックし、そのプロパティを開きます。

ラベルフォーマットの編集

保護されていないフォーマットを編集するには

- ① 開いているラベルを全部閉じる。
- ② [Format]（フォーマット）、[Open]（開く）を順にクリックすると、Format Properties（フォーマットプロパティ）のダイアログボックスが表示されます。

この後の手順については、本章“新しいラベルフォーマットを作成する”をご参照ください。

編集メニュー

編集メニューには、次のコマンドが含まれています。

1. Cut – アイテムをカットする
2. Copy – アイテムをコピーする
3. Paste – アイテムを貼り付ける
4. Delete – アイテムを削除する

* * *

1. Cut – アイテムをカットする

アイテムをラベルからカットするには

- ❶ マウスのポインターをアイテムの上でクリックして選択します。

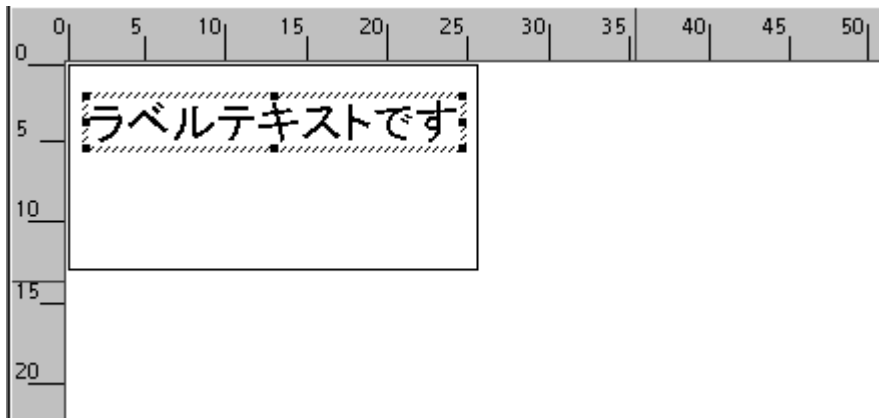


- ❷ [Edit] (編集)、[Cut] (カット) を順にクリックしてください。
または、ツールバーの [Cut] (カット) アイコンをクリックします。

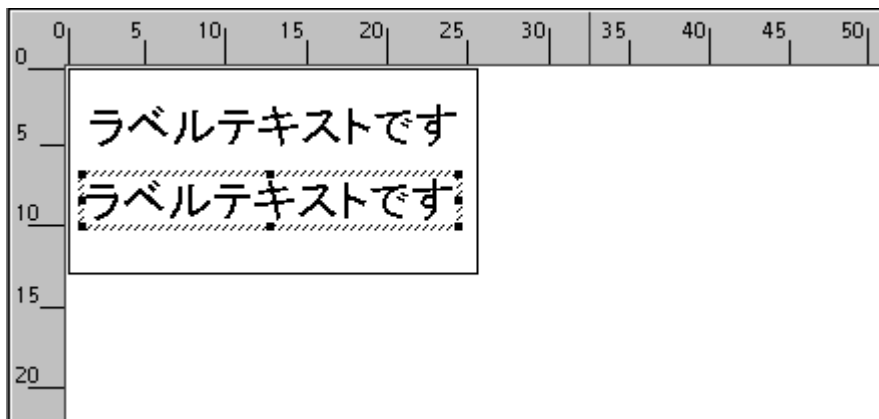
2. Copy — アイテムをコピーする

ラベルの中でアイテムをコピーするには

- ① マウスポインターをアイテムの上にクリックして選択します。



- ② [Edit] (編集)、[Copy] (コピー) を順にクリックしてください。
または、ツールバーの [Copy] (コピー) アイコンをクリックします。



3. Paste — アイテムを貼り付ける

アイテムがカットまたはコピーされたら、[Paste]（貼り付け）コマンドを使用してそのラベルを他の場所、または他のラベルに貼り付けることができます。

アイテムをラベルに貼り付けるには

- ① [Edit]（編集）、[Paste]（貼り付け）を順にクリックしてください。
または、ツールバーの [Paste]（貼り付け）アイコンをクリックします。
- ② マウスのポインターを貼り付けたアイテムの上に置き、マウスの左ボタンを押したまま希望の場所にドラッグします。

4. Delete — アイテムを削除する

アイテムを削除するには、

- ① マウスのポインターをアイテム上に置き、クリックで選択します。
- ② [Edit]（編集）、[Delete]（削除）を順にクリックします。これでそのアイテムは、ラベルから完全に削除されます。

ビューメニュー

[View] (表示) メニューの中で、下記のメニューバーの表示のオン／オフを行います。

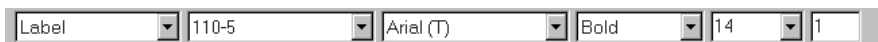
- Standard Bar (スタンダードバー)



- Status Bar (ステータスバー)



- Document Bar (ドキュメントバー)



- Movement Bar (移動バー)



- Alignment Bar (位置調整バー)



- Item Bar (アイテムバー)



- Zoom Bar (ズームバー)



- Format Layout (フォーマットレイアウト)

- Label Text (ラベルテキスト)

- Refresh the (リフレッシュ)

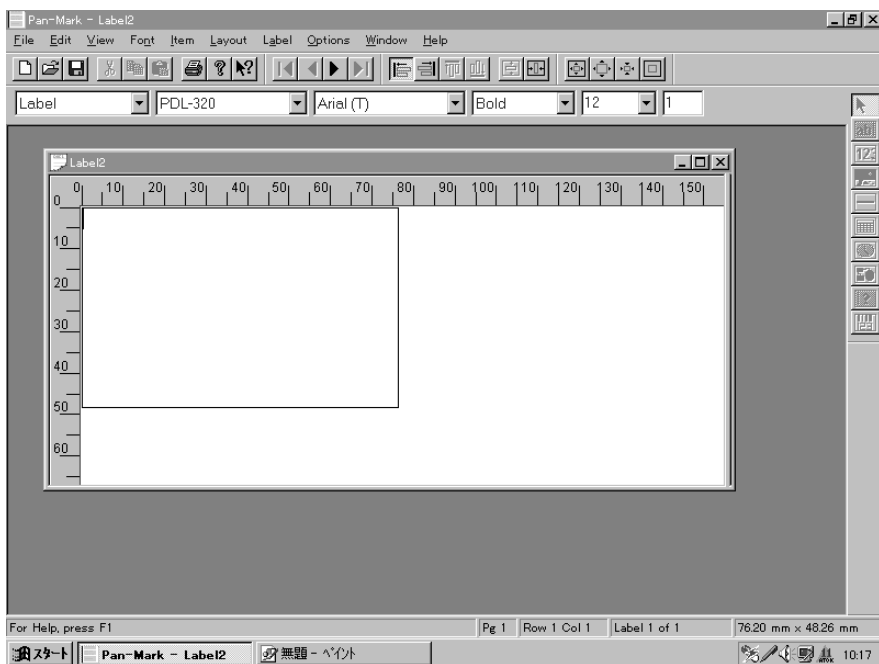
ここで、Label Text (ラベルテキスト) 機能と Zoom (ズーム) オプションについてより具体的に説明します。

1. Label Text — ラベルテキスト機能

ラベルテキストを使って、ラベルにテキストを素早く入れます。

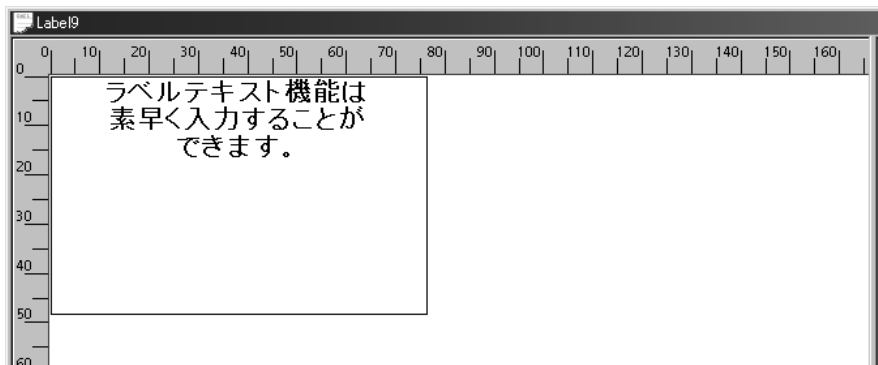
ラベルテキストを使うには：

- ❶ [File]（ファイル）、[New]（新規作成）を順にクリックします。新しいラベルが表示されます。



- ❷ [View]（ビュー）、[Label Text]（ラベルテキスト）を順にクリックします。

- ❸ テキストを直接に入力します。



- ④ テキストの位置調整をするには [Layout] (レイアウト) を選択してから、[Center] (センターリング)、[Left] (左揃え)、[Right] (右揃え) のいずれかを選んでください。

2. Zoom — ズームオプション

ラベルのウィンドウが開いている場合、[View] (ビュー) 中から [Zoom] (ズーム) を使ってラベルのサイズを調整します。(ツールバーの [Zoom] (ズーム) バーからこの機能を使うこともできます。)



この機能は画面上の表示を調整するだけですが、印字する時には機能しません。

Zoom (ズーム) を使うには

- ① [View] (ビュー)、[Zoom] (ズーム) を順にクリックします。
- ② 以下にある表示したいオプションをクリックします。

Auto Fit	自動的にラベルのウィンドウ内に入るサイズを選択します。
In	ラベルを拡大表示させる。画面に徐々に近づいて拡大します。
Out	ラベルを縮小表示させる。画面から徐々に遠ざかって縮小します。
Normal	標準の表示に戻します。

フォントメニュー

フォントメニューには、次のコマンドが含まれています。

1. Typeface — ラベルのフォントスタイルや、[Bold]（太字）や [Italics]（斜体）などの選択をする
2. Clolor — 文字や背景の色を選択する（カラープリンタを使用している場合）
3. Rotate — ラベルの中のテキストを回転させる

＊ ＊ ＊

1. Typeface — フォントスタイルを選択する

テキストや連続番号、時間、日付や挿入データに特定のフォントスタイルを使用するには、Typeface（書体）コマンドを使用します。

フォントを選択するには

- ① [Font]（フォント）、[Typeface]（書体）を順にクリックしてください。または、[Cntrl+F] を押してください。
- ② フォントダイアログボックスが表示されたら、ラベルに使用したいフォントなどを設定してください。
- ③ [OK] をクリックしてください。

2. Color — 前面（文字、イメージ）または背景の色を選択する

ラベルの前面（文字、イメージ）と背景の色を特定することができます。

前面または背景の色を選択するには

- ① [Font]（フォント）、[Color]（色）を順にクリックします。
- ② [Foreground]（前面）または [Background]（背景）をクリックします。
- ③ カラーパレットから特定の色を選んでください。
- ④ [OK] をクリックします。

3. Rotate — テキストを回転させる

ラベルの中でテキストを回転させるには

- ❶ 回転させるテキストアイテムを選択します。
- ❷ [Font] (フォント)、[Rotate] (回転) をクリックします。
- ❸ 回転させたい度数をクリックします。

アイテムメニュー

アイテムメニューには、次のコマンドが含まれています。

- Static（固定）——テキスト、図柄、ラインなどのようにラベルによって変化しないアイテム。
- Dynamic（変動）一次のようにラベルによって変化する可能性のあるアイテム。
 - 連続番号
 - 現在の日付
 - 現在の時間
 - Excel（エクセル）や Access（アクセス）などの外部データベースへの接続
 - オペレーターの入力データ
 - バーコード
- Properties（プロパティ）

これらのコマンドについては、第4章で詳しく説明します。

* * *

ここで、アイテムに関する操作について説明します。

◆アイテムを選択し配置する

次のいずれかの方法を使用してアイテムを選択できます。

- メニューバーの中から [Item]（アイテム）をクリックしてアイテムメニューを表示し、アイテムを選択する。
- マウスの右ボタンをクリックしてアイテムメニューを表示し、アイテムを選択する。
- Pan-Mark ウィンドウの右側に表示されるアイテムバーの中のアイテムをクリックする。

アイテムを選択した後、マウスのポインターをラベルエリアに移動すると、ポインターは選択されたアイコンを反映して変化します。

本ソフトのラベルに配置されるものは、全てアイテムと呼ばれます。

例えば、次の頁の図ではテキストアイテムと図柄アイテムの2つのアイテムがあります。

This is a text item



それぞれのアイテムは、斜線のボックスで表示されているように、別々に選択します。選択されたアイテムは、コピーしたり、移動したり、削除したりすることができます。

This is a text item



◆重なっているアイテムについて

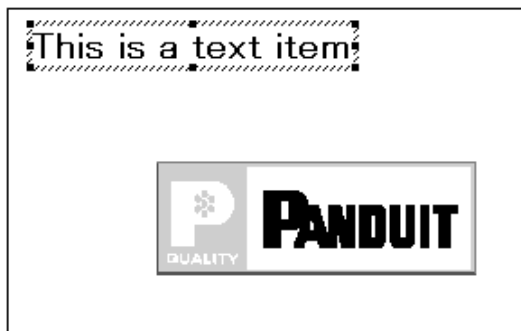
ラベル上でのアイテムの選択がうまくいかない時、同じラベル上に他のアイテムが重なってしまっていることがあります。例えば、ラベルにはテキストアイテムとイメージアイテムの2つが含まれています。この状況でイメージアイテムを選択しようとしたのにできなかったとします。



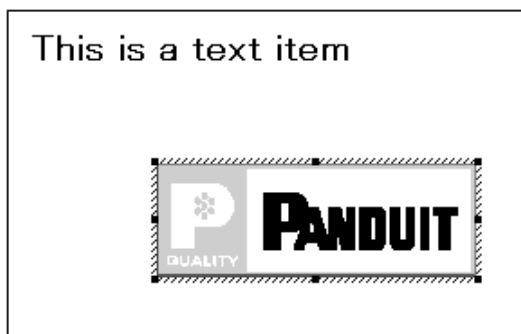
テキストアイテムを選択すると、実際にテキストアイテムがイメージアイテムに重なっていることが分かります。そのためにイメージアイテムを選ぶことができず、テキストアイテムが選ばれてしまうからです。



この問題の解決策として、[F 7] キーを押してテキストアイテムの範囲を最小化にします。この時テキストアイテムの斜線ボックスからイメージアイテムの部分をはみ出させて、選択できるようにしておく必要があります。



これでイメージアイテムを選べるようになります。



この状況を防ぐために、アイテムを決定し終わった後に、常に「F7」キーを押して、アイテムの範囲を最小化にしてください。

◆テキストアイテムを編集する

テキストアイテムを編集するには、テキストアイテム上でダブルクリックして、テキストの入力モードに入ってから、テキストを編集してください。

◆アイテムを移動する

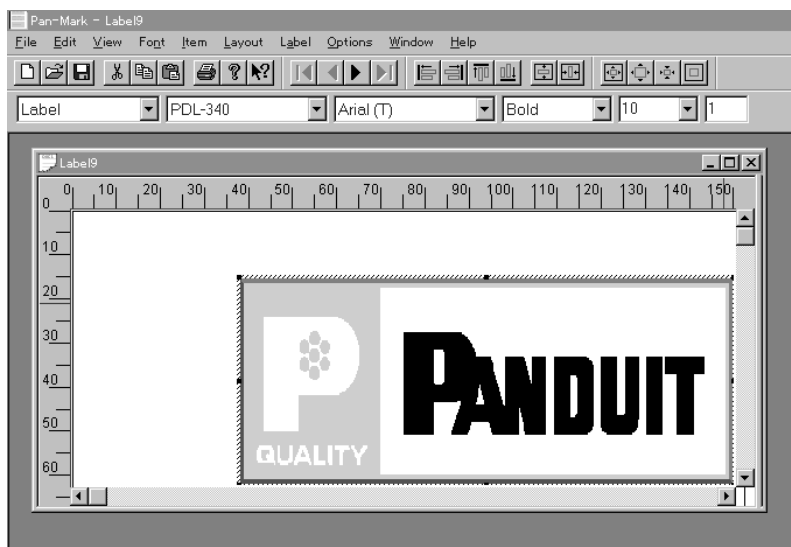
移動したいアイテムをクリックして、新しい場所にドラッグし、マウスボタンを離してください。

◆アイテムのサイズを変更する

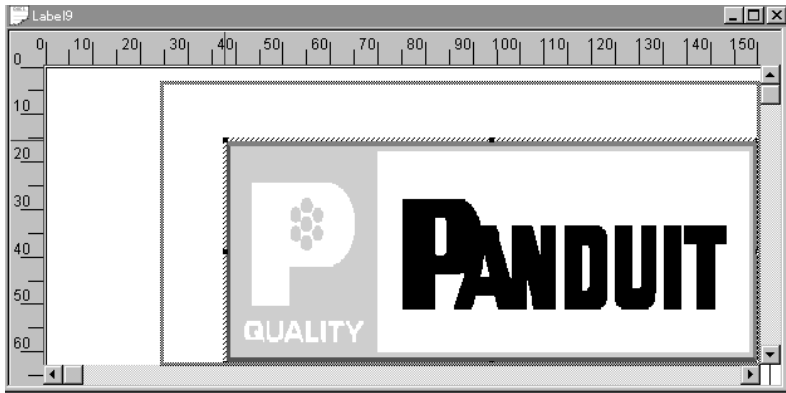
グラフィックアイテム（イメージ、ライン等）は、ラベルのサイズに合わせて拡大と縮小ができます。

アイテムのサイズを決めるには

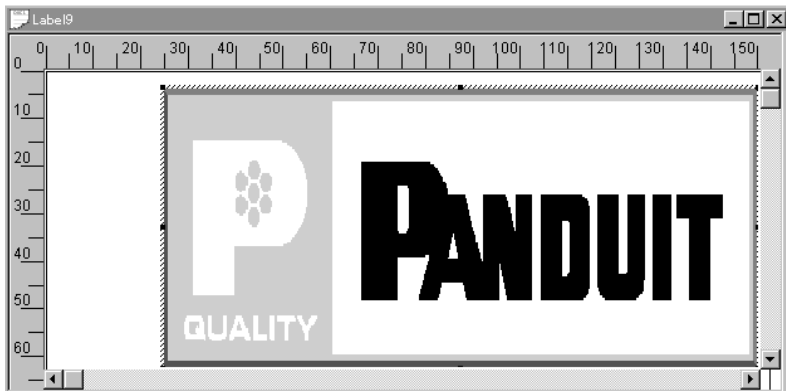
- ① アイテムをクリックし、グラフィックアイテムを選択してください。斜線の四角の上に8カ所のハンドルが表示されます。



- ❷ このハンドルの1つの上でマウスの左ボタンをクリックしたままに、グラフィックを拡大させたい所までマウスをドラッグします。



- ❸ マウスのボタンを離すと、グラフィックはドラッグされた位置まで拡大されます。グラフィックの外でクリックをするとハンドルが消えます。



レイアウトメニュー

レイアウトメニューには、次のコマンドが含まれています。

1. Align — アイテムの左右上下の位置調整
2. Center — アイテムのセンターリング
3. Size — 2つ以上のアイテムの大きさを揃える

＊ ＊ ＊

1. Align — アイテムの左右上下の位置調整

Layout メニューの中の Align（位置調整）コマンドを使って、アイテムのラベル内の位置を決めます。

- ① アイテムをクリックします。
- ② [Layout]（レイアウト）、[Align]（位置調整）を順にクリックします。
 - ・ [Left]（左）をクリックすると左いっぱいに移動します。
 - ・ [Right]（右）をクリックすると右いっぱいに移動します。
 - ・ [Top]（上）をクリックすると一番上に移動します。
 - ・ [Bottom]（下）をクリックすると一番下に移動します。

これらの機能は Movement Bar（移動バー）を使用しても可能です。

2. Center — アイテムのセンターリング

Layout メニューの中の Center（センター）コマンドを使って、アイテムをラベル内で上下左右のセンターリングをします。

- ① アイテムをクリックします。
- ② [Layout]（レイアウト）、[Center]（センター）を順にクリックしてください。
 - ・ [Horizontal]（水平方向）をクリックして、左右のセンターリングします。
 - ・ [Vertical]（垂直方向）をクリックして、上下のセンターリングします。
 - ・ [Both]（両方向）をクリックして左右上下のセンターリングします。

これらの機能は Movement Bar（移動バー）を使用しても可能です。

3. Size — 2つ以上のアイテムの大きさを揃える

Size（サイズ）コマンドを利用して2つ以上のアイテムの大きさを同時に揃えることができます。

これらのアイテムの大きさを揃えるには

- ❶ 左側のアイテムをクリックしてください。
- ❷ [Shift] キーを押したまま、右側のアイテムをクリックします。最後にクリックするアイテムが大きさの基準となります。
- ❸ [Layout]（レイアウト）、[Size]（大きさ）を順にクリックし、
 - ・ [Width]（幅）をクリックし、2つ以上のアイテムの幅を揃えます。
 - ・ [Height]（高さ）をクリックし、2つ以上のアイテムの高さを揃えます。
 - ・ [Both]（両方向）をクリックし、2つ以上のアイテムの高さと幅を揃えます。

ラベルメニュー

ラベルメニューに含まれている主なコマンドについて説明します。

1. Properties — ラベルフォーマットのプロパティを開く
2. Move to — 他のラベルへ移動する
3. Insert — ラベルを挿入する
4. Remove — ラベルを削除する

* * *

1. Properties — ラベルフォーマットのプロパティを開く

(36ページ参照)

2. Move to — 他のラベルへ移動する

メニューバーの中の Move To (移動) コマンドを使用して、同じシリーズ内で他のラベルに移動することができます。

例えば、100 枚ラベルがあるとします。そのうち 50 枚目のラベルを現在作業しているとします。[Label] (ラベル)、[Move To] (移動) を順にクリックします。

次に：

- [First] (第1番目) をクリックして、シリーズの最初のラベル (ラベル1) に移動します。
- [Previous] (前) をクリックしてシリーズの1枚前のラベル (ラベル49) に移動します。
- [Next] (次) をクリックしてシリーズの次のラベル (ラベル51) に移動します。
- [Last] (最後) をクリックして、シリーズの最後のラベル (ラベル100) に移動します。

3. Insert — ラベルを挿入する

Insert（挿入）コマンドを使って、既存のラベルの中に他のラベルを挿入できます。
例えば、5枚のラベルが存在しているとします。
新たに1枚のラベルを既存の1枚目と2枚目の間に挿入します。



この機能は、連番アイテムには使えません。

- 1 Movement bar（移動バー）の [Next Label]（次のラベル）のアイコンをクリックして2枚目ラベルに移動します。

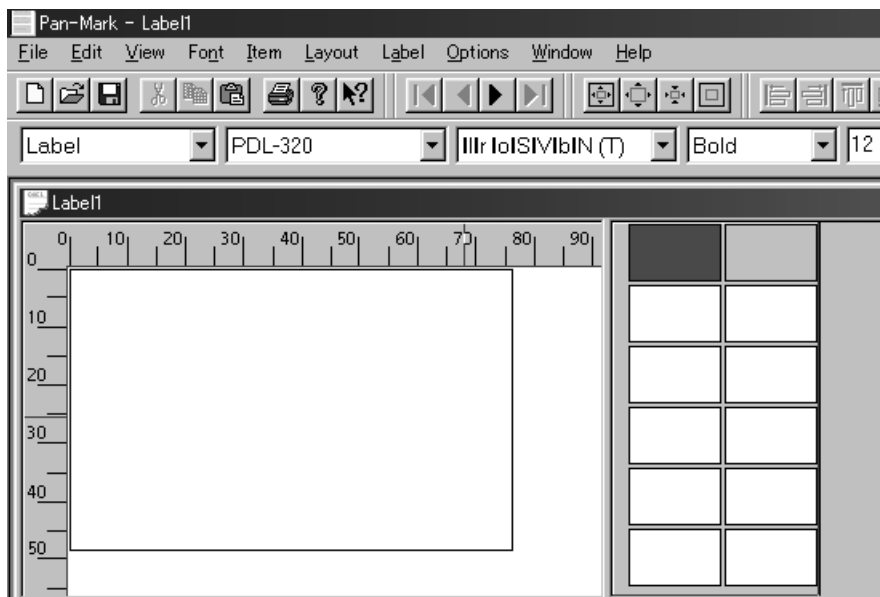


または、ラベルプレビュー上の2枚目のラベルをクリックします。

- ② [Label] (ラベル)、[Insert] (挿入) を順にクリックしてください。



- ③ 新しいラベルとして空白のラベルが挿入されます。



4. Remove — ラベルを削除する

Remove（削除）コマンドを使用して、既存するラベルからあるラベルを削除することができます。例えば、5枚のラベルが存在しているとして、その中から2枚目のラベルを削除します。



この機能は、連番アイテムには使えません。

- 1 Movement bar（移動バー）の [Next Label]（次のラベル）のアイコンをクリックし、2枚目のラベルへ移動します。

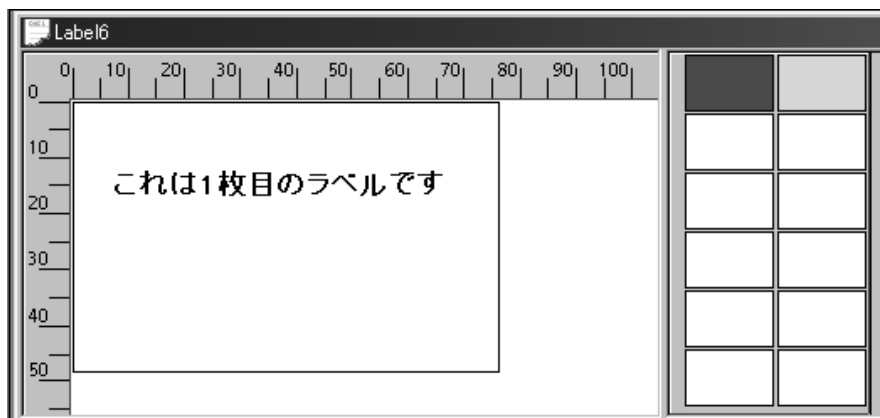


または、ラベルプレビュー上の2枚目をクリックしてください。

- ② [Label] (ラベル)、[Remove] (削除) を順にクリックしてください。



- ③ 2枚目のラベルは削除されました。



オプションメニュー

オプションメニューには、次のコマンドが含まれています。

1. Units — ルラーの単位を選択する
2. Cut Mark — 切り取り線を設置する
3. ODBC Administrator — 外部のデータベースへ接続する

＊ ＊ ＊

1. Units — ルラーの単位を選択する

ラベル設計に使うルラーの単位を選択するには

[Options] (オプション)、[Unit] (単位) をクリックし、その後 [Inches] (インチ)、または [Millimeters] (ミリ) をクリックしてください。

2. Cut Mark — 切り取り線を設置する

パンドウイト社製の PTR2E をプリンタで、連続ロール紙に目印として Cut Mark (切り取り線) を印字することができます。この線は、印字した後、連続ロール紙からラベルを切る際に役立ちます。



このオプションは、連続ロール紙のみに適応され、ラベルやワイヤマーカークのドキュメントタイプでは使用できません。

Cut Mark を設置するには

[Option] (オプション)、[Cut Here Mark] (切り取り線) をクリックしてください。

この機能が作動している場合、メニューにチェックマークが表示されます。それをオフにするには、もう一度クリックしてください。

3. ODBC Administrator — 外部データベースへ接続する

Windows の ODBC（外部データベースの接続）インターフェイスを使って、Microsoft 社の Excel や Access などのデータベースにリンクし、リングしたデータを ODBC アイテムとしてラベルに挿入することができます。

ODBC Administrator は、ラベルが開いていない状態の Option（オプション）メニューで使えます。



ここでは、ODBC データベースをセットアップする基本的なステップが含まれています。詳しくは、それぞれのデータベースの書類を参照してください。

ODBC Administrator を利用する前に、以下の2つの準備ができてることが前提です。

- ・ 外部のデータベースが既に作成してある。
- ・ Windows の ODBC ヘデータベースの登録済みである。

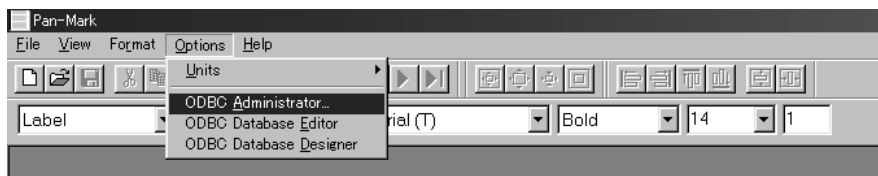
ここで、Microsoft 社の Excel でデータベースの作成を例として、具体的な手順を説明します。

① 外部のデータベースを作ります。その場合、下記の原則を予め理解してください。

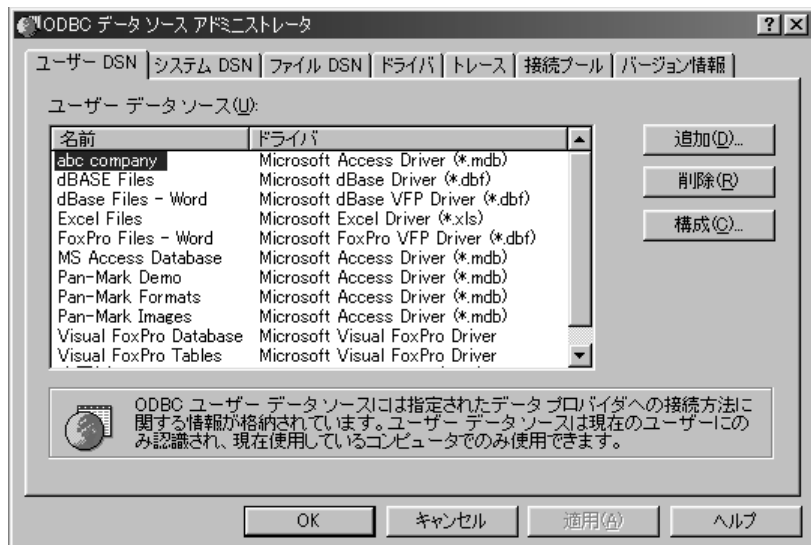
- ・ 最初の行は、見出しとして列名を記入してください。
- ・ 二行目からは、データを必ず文字型の書式で入力してください。
- ・ Excel のファイルを名づけて適当なフォルダーに、保存してください。

② ODBC ヘデータベースを登録します。

すべてのラベルを閉じて、[Option]（オプション）、[ODBC Administrator] をクリックしてください。

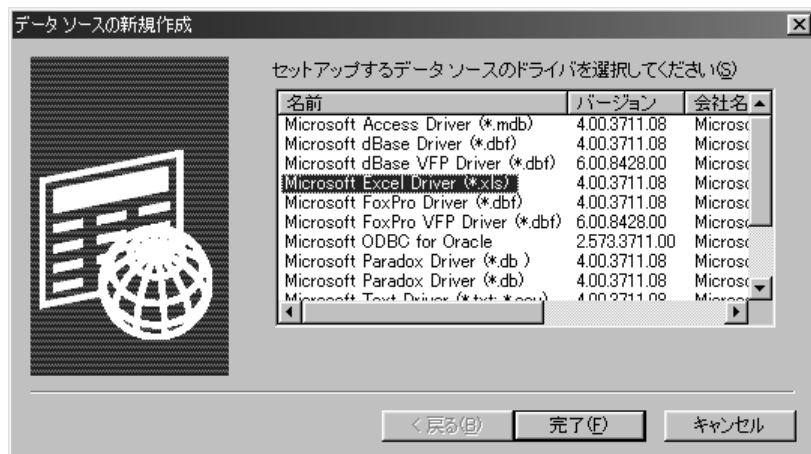


現在の ODBC によって定義されているユーザーデータソースが表示されます。



このリストに表示されるデータソースは、各々のシステムのセットアップによって異なります。

- ③ 「ODBC データソースアドミニストレータ」のダイアログボックスにある「追加」ボタンをクリックしてください。
- システムにインストールされた ODBC ドライバーの一覧が、「データソースの新規作成」のダイアログボックスが表示されます。



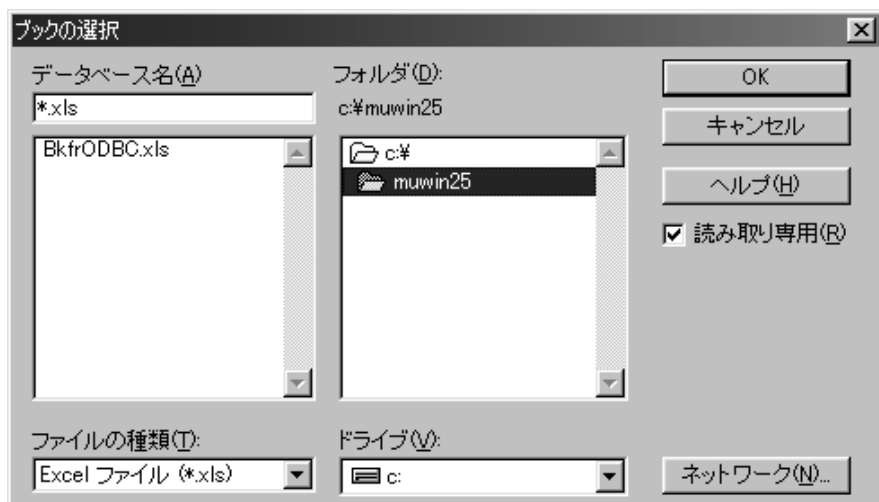
Excel のドライバーを選択し、「完了」をクリックしてください。

- ④ 新たなデータソース名を入力し、必要なコメントを入力してください。



- ⑤ Excel のバージョンを確認してください。

- ⑥ 「ブックの選択」でフォルダー、ドライバー及びファイル名を指定してください。



- ⑦ 「OK」をクリックしてすべてを終了し、デスクトップへ戻ります。

これで Windows の ODBC ヘデータベースの登録が完了しました。

ウィンドウメニュー

ウィンドウメニューに含まれている主なコマンドについて説明します。

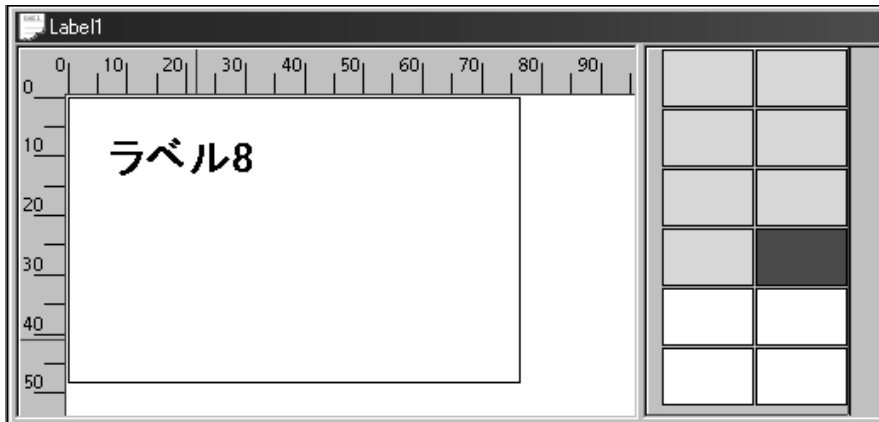
1. New Window — 新しいウィンドウを開く
2. Arrange Icons — ウィンドウを整理する

＊ ＊ ＊

1. New Window — 新しいウィンドウを開く

このオプションを使って、他のウィンドウを同時に表示することができます。

次の例では現在 10 枚シリーズの 8 枚目を作業していて、同時にラベル 1 のウィンドウを表示させた場合です。



[Window] (ウィンドウ)、[New Window] (新しいウィンドウ) を順にクリックしてシリーズの中のラベル1が表示されます。



2. Arrange Icons — ラベルウィンドウを整理する

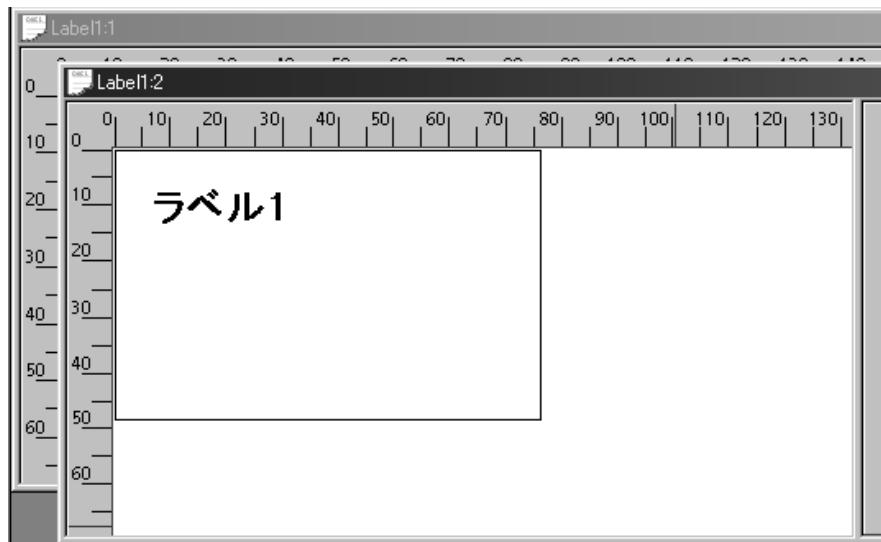
複数枚のラベルが開いていると、作業エリアは混乱してきます。これら開いているラベルを整理することによって、作業を組織的に行うことができます。

ウィンドウを手作業で整理するには

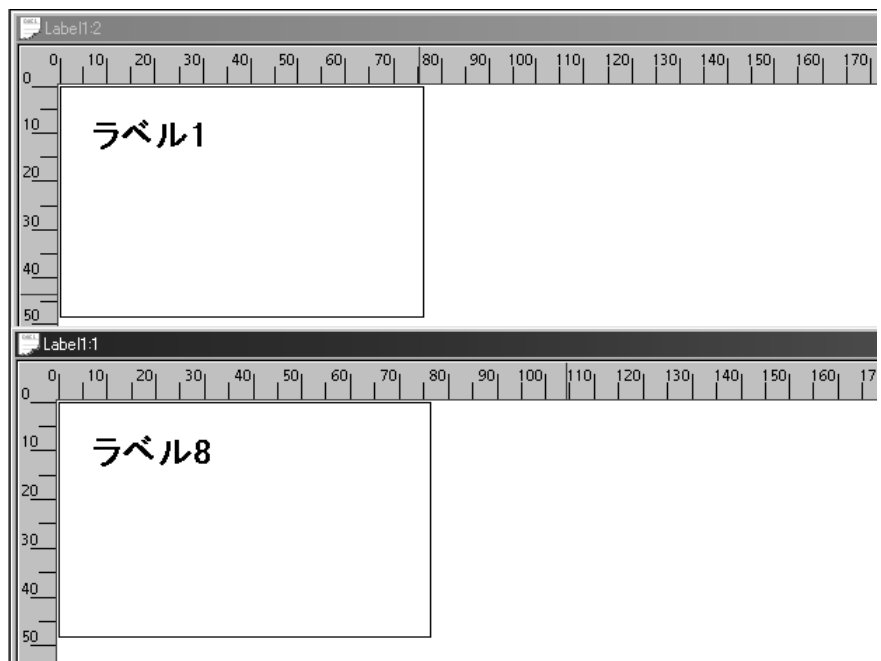
- ① ラベルウィンドウのタイトルエリアでクリックし、ラベルを新しい場所にドラッグしてください。
- ② この手順を繰り返して行き、ウィンドウを希望の場所に整理します。

ラベルウィンドウの整理を自動的に行うのは、以下のどちらかの手順に従って進めて下さい：

- [Window] (ウィンドウ)、[Cascade] (カスケード) を順にクリックし、ラベルを階段状に重ねて開くスタイルにする。



- ・ [Window] (ウィンドウ)、[Tile] (タイル) を順にクリックし、ラベルを縦に重ねて開くスタイルにする。



第4章

ラベルに入力

この章の内容

テキストを入力する

イメージアイテムを挿入する

ライン（線）を挿入する

連続番号を作成する

現在の日付を挿入する

現在の時刻を挿入する

ODBC によって外部データを挿入する

Input ダイアログボックスを使ってデータを印字する

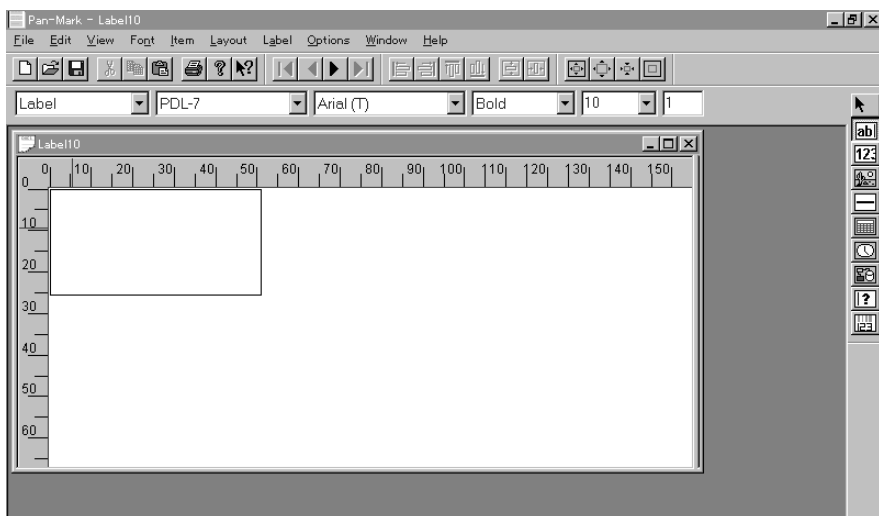
バーコードを作成する

ヘルプメニュー

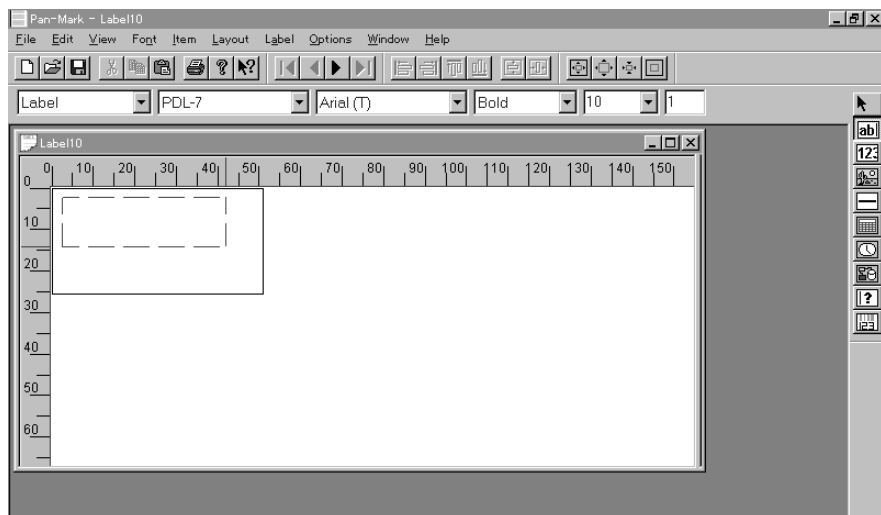
テキストを入力する

テキストを入力するには

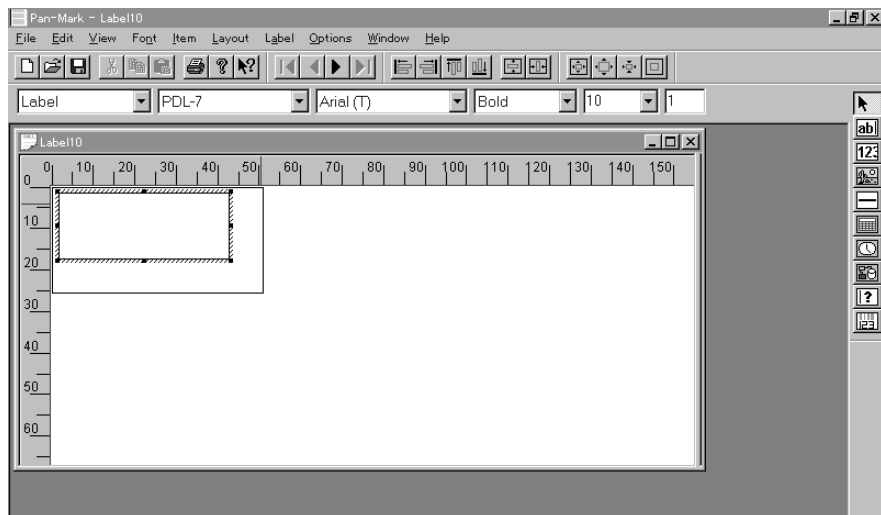
- ① 新規、または既存のラベルを開いて、次の中から1つの操作を行ってください。
 - ・ [Item] (アイテム)、[Static] (固定) [Text] (テキスト) と順にクリックします。
 - ・ [Ctrl+Shift+T] を押して下さい。
 - ・ アイテムバーの [Text] (テキスト) アイコンをクリックします。
 - ・ マウスの右ボタンをクリックして、出てきたメニュー中から [Text] (テキスト) をクリックします。
- ② テキストポインターをラベルエリアに移動させます。テキストポインターはラベルエリアに入ると、選択されたアイコンがポインターに表示されます。
- ③ ラベルにテキストを挿入したい場所にポインターを置いてください。



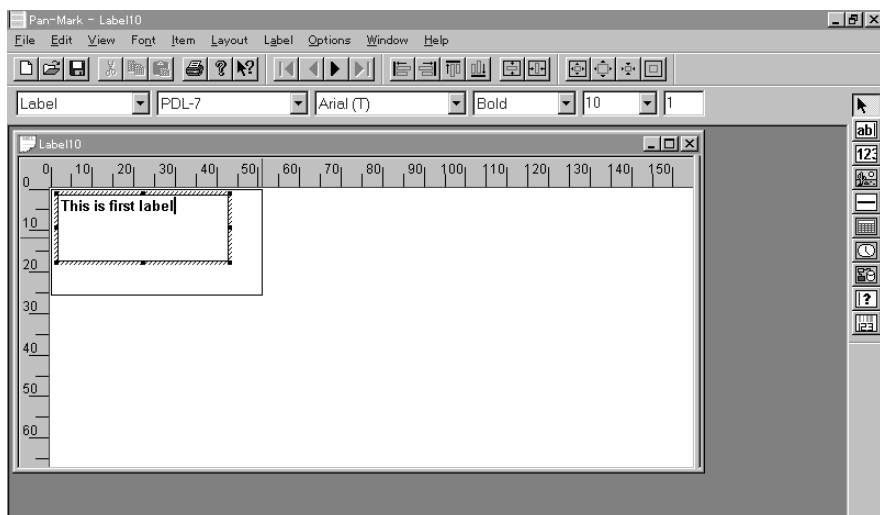
- ④** クリックしたままドラッグし、テキスト入力エリアを広げます。必要と思う十分なスペースをとってください。テキストエリアは後で縮小できます。



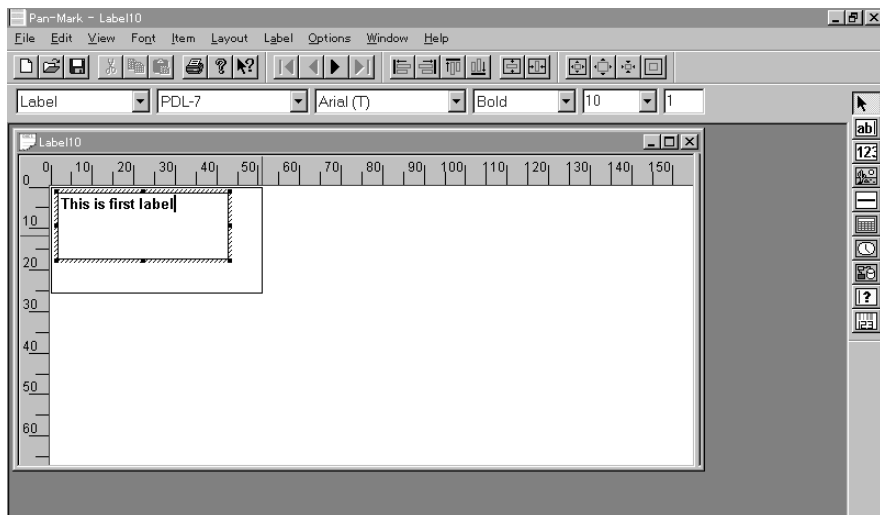
- ⑤** マウスのボタンを離すと、テキスト入力エリアの中にカーソルが表示されます。これで実際にラベルテキストを入力できます。



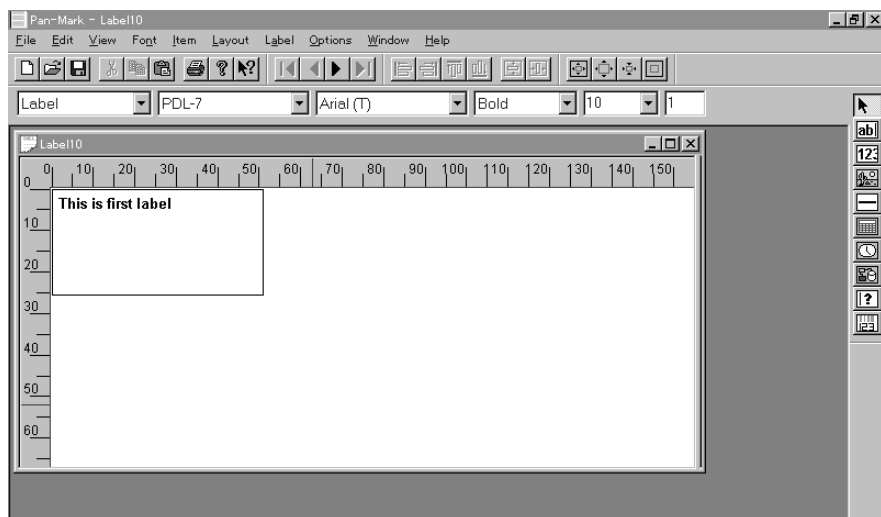
⑥ テキスト入力エリアにテキストを入力してください。



⑦ 挿入したいアイテムのための場所を作ります。



- ⑧ アイテムの位置が希望通りであれば、[F 5] キーを押すか、アイテムのほかでクリックして終了します。



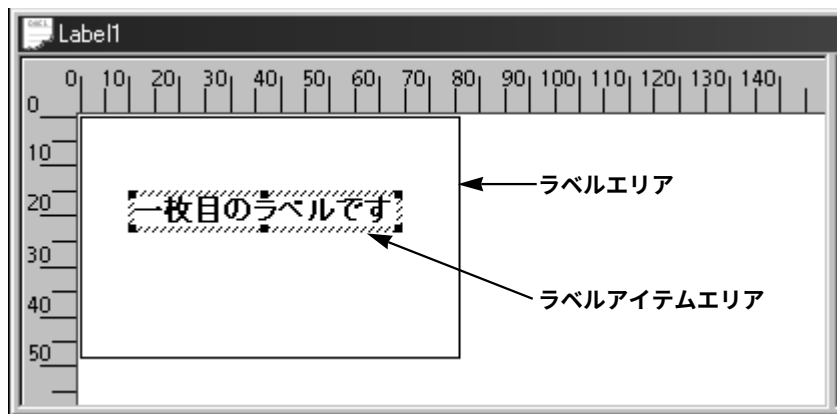
ラベルの中でテキストの位置決め

Windows 対応 Pan-Mark では、文字をラベルの中で左揃え、右揃え、センターリングのいずれにも揃えられます。(左揃えが標準です)

ラベルの中でテキストを揃える場合は、テキストアイテムエリアとラベルエリアの違いを覚えておくことが重要です。

- ・テキストアイテムエリアは、テキストを入力する前にテキストアイコンをドラッグして、開くエリアです。これが領域表示されると斜線に囲まれた実線の四角があらわれます。
- ・ラベルエリアはラベルそのものの大きさです。テキストアイテムエリアは、テキストアイコンをどれだけドラッグして広げたかによって、ラベルエリアと同じくらい大きくなったり、またはラベルエリアの一部のみであったりします。

テキストの文字揃えは、テキストアイテムエリアの中で行われているのであってラベルエリアの中ではありません。

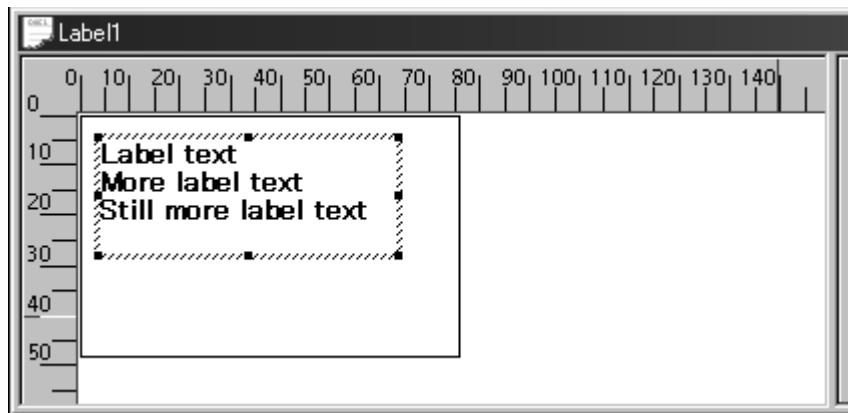


テキストをセンターリングにする

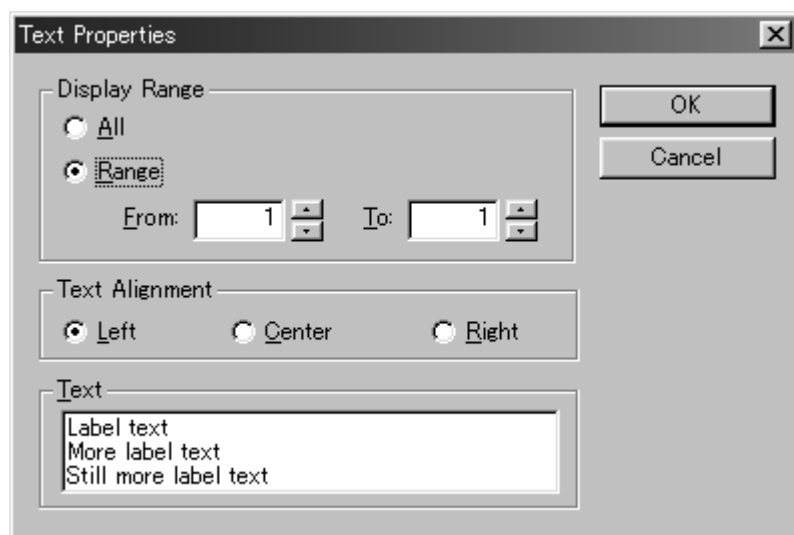
テキストを中央揃えにするには、2段階のプロセスがあります。

- ・まずテキストアイテムエリアの中でテキストをセンターリングします。
- ・次にラベルエリアの中でテキストアイテムをセンターリングします。

例えば、次のラベルのテキストをセンターリングするには

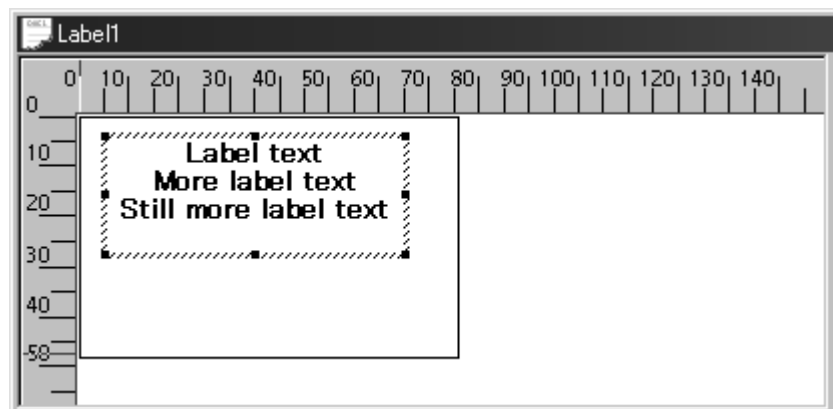


- ① テキストアイテムをダブルクリックします。
- ② 「Ctrl+G」キーを押すと、テキストプロパティのウインドが開きます。

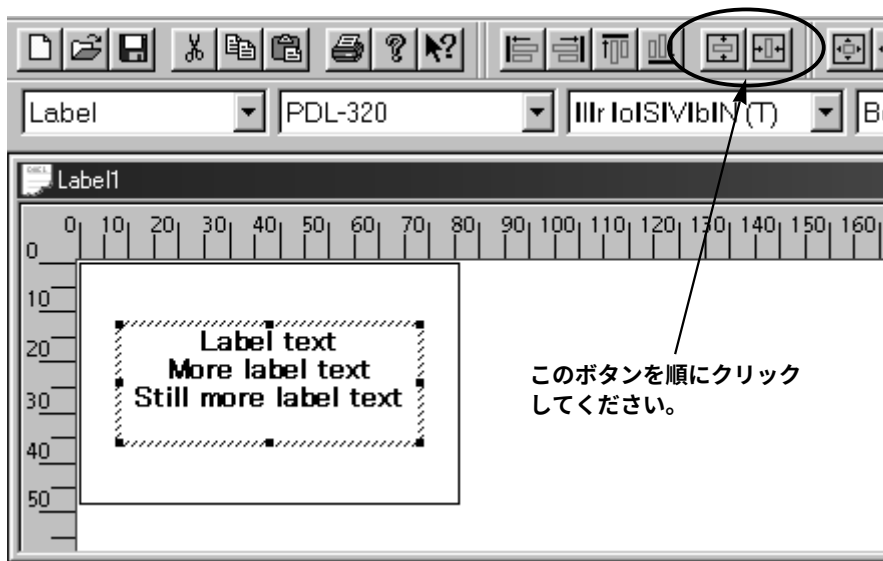


- ③ [Text Alignment] 項目内の [Center] ボタンをクリックしてから、[OK] ボタンを押してください。

これで、テキストがテキストアイテムエリア内でセンタリングされます。



- ④ Alignment (位置調整) バーの中から [Center Vertically] (上下センタリング) アイコンをクリックし、次に [Center Horizontally] (左右センタリング) アイコンをクリックしてください。



これですべてのセンタリングされました。

- ⑤ [F5] キーを押して、センタリングされたテキストを確定してください。

イメージアイテムを挿入する

Windows 対応 Pan-Mark は、ラベルに会社のロゴ、記号等のビットマップイメージ (.BMP) を挿入することができます。

イメージアイテムを挿入するには

- ① 新規、または既存のラベルを開いて、次の中から一つの操作を行ってください。
 - ・アイテムバーの [Image] (イメージ) アイコンをクリックします。
 - ・[Item] (アイテム)、[Static] (固定) [Image] (イメージ) と順にクリックします。
 - ・マウスの右ボタンをクリックして、出てきたメニューの中から [Image] (イメージ) をクリックします。
- ② イメージのポインターをラベルエリアに移動させ、イメージを挿入したい場所にポインターをセットします。
- ③ マウスボタンを押したまま希望の大きさまでボックスをドラッグさせて、開いたらボタンを離します。

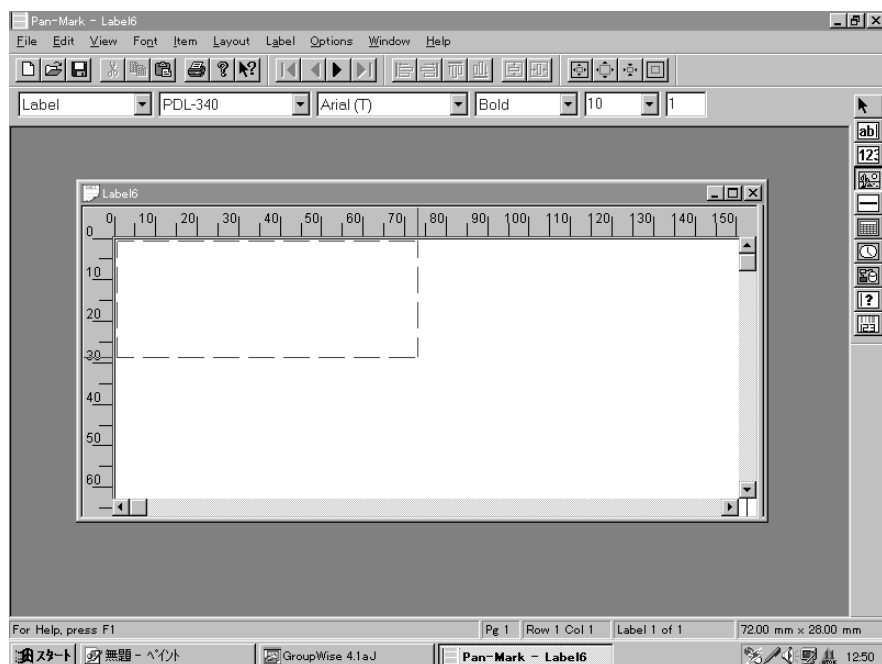
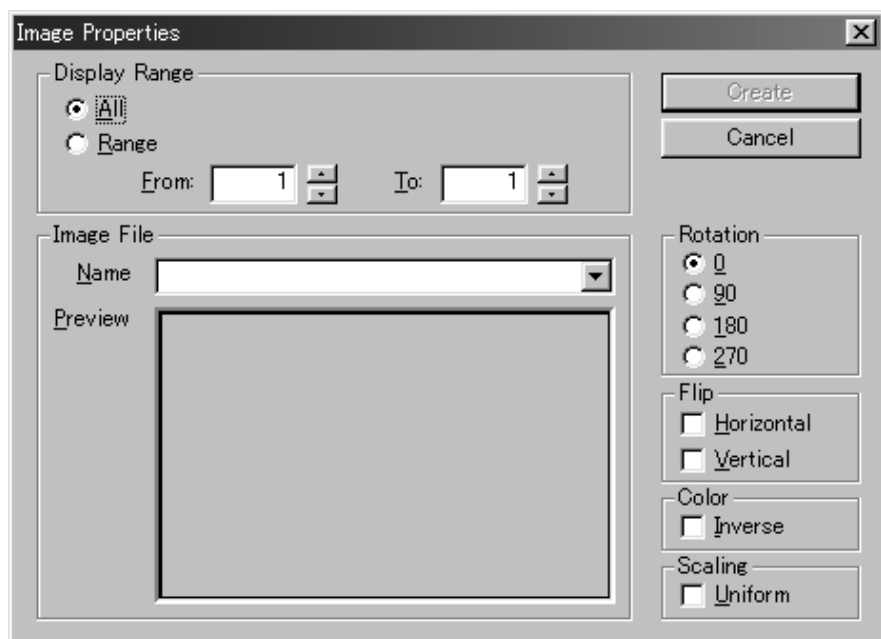
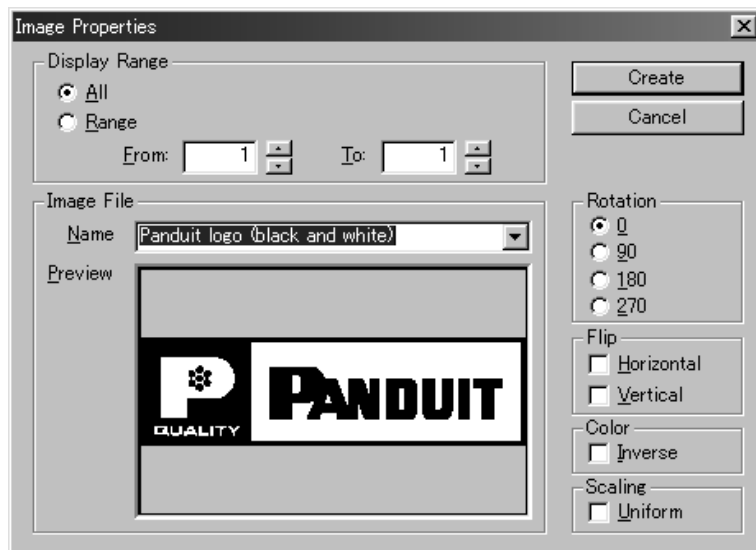


Image Properties (イメージのプロパティ) のダイアログボックスが開きます。

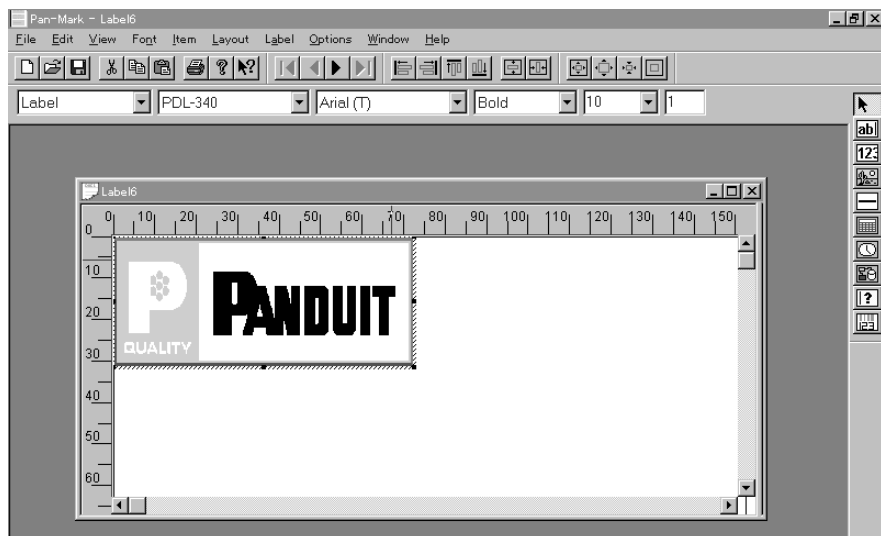


- ④ Image File (イメージファイル) の欄にある矢印をクリックしてリストの中からイメージを選択する。リストにないイメージを挿入したい場合には [Load Custom Image] (カスタムイメージを読み込む) をクリックし、希望のイメージのあるフォルダーとファイル名を選択します。選択したイメージが Preview (プレビュー) 画面に表示されます。



ダイアログボックスの中の回転や反転を選択することができます。

⑤ [Create] ボタンをクリックしてイメージをラベルに挿入します。



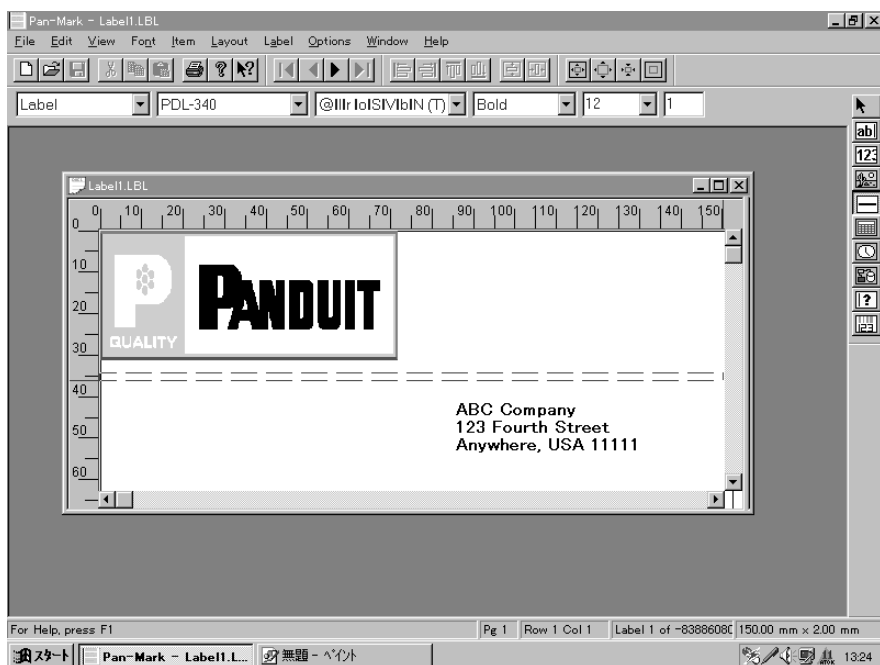
⑥ ポインターをラベルの外に移動させてクリックし、イメージを確定してください。

ライン（線）を挿入する

Windows 対応 Pan-Mark では、垂直や水平のラインを挿入できます。

ラベルにラインを挿入するには

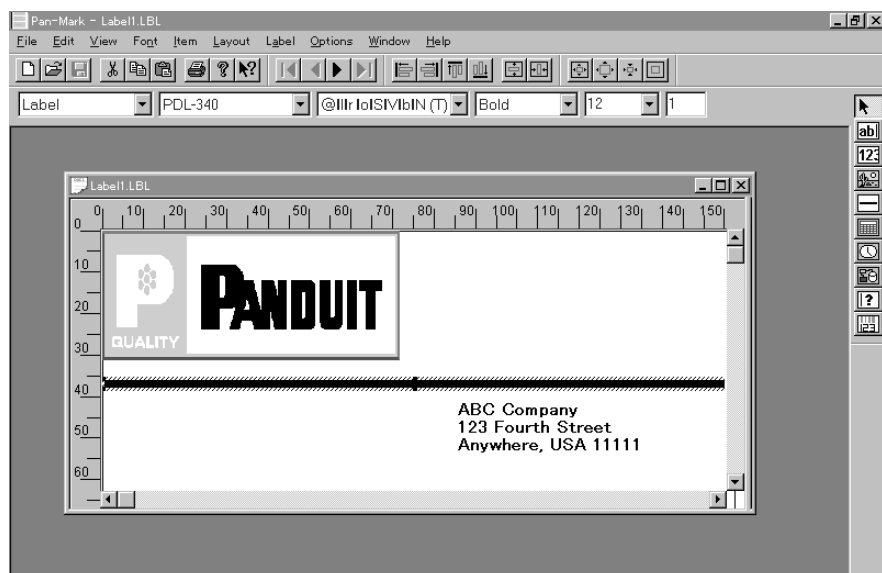
- ① 新規、または既存のラベルを開いて、次の中から一つの操作を行ってください。
 - ・ [Item] (アイテム)、[Static] (固定)、[Line] (線) と順にクリックする。
 - ・ アイテムバーの [Line] (ライン) アイコンをクリックする。
 - ・ マウスの右ボタンをクリックして、現れてきたメニューの中から [Line] (ライン) をクリックする。
- ② ポインターをラベルエリアに移動し、ラインを引きたい場所にポインターを設定します。
- ③ ラインを引きたい部分にマウスをドラッグし、マウスボタンを離します。





ポインターを上下に動かすことによって水平の線の太さを変えられます。
また、左右に動かすことによって垂直の線の太さを変えられます。

マウスのボタンを離すと、ハンドルのついた線が表示されます。



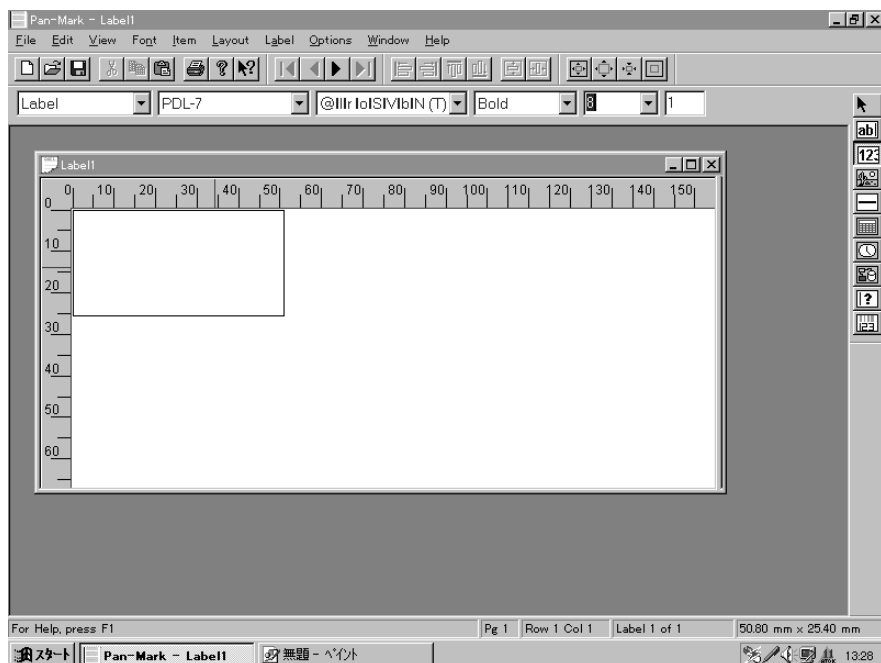
- ④ ポインターを線から離してクリックすると確定します。

連続番号を作成する

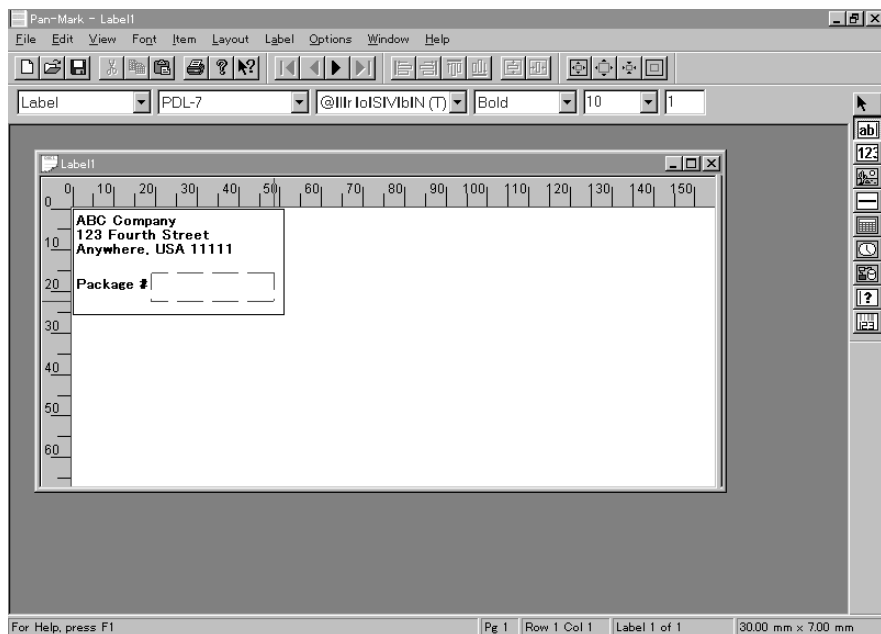
Windows 対応 Pan-Mark は、各種の連続番号を入力できます。

この例では、ラベルの連続番号を 10 枚作成するとします。

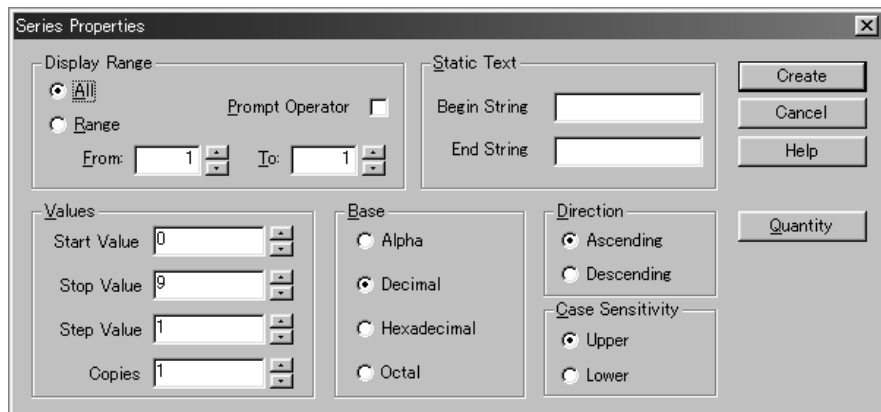
- ❶ 新規、または既存のラベルを開いて、次の中から一つの操作を行ってください。
 - ・ [Item] (アイテム)、[Dynamic] (変動)、[Series] (連続) と順にクリックする。
 - ・ アイテムバーの [Series] (連続) アイコンをクリックする。
 - ・ マウスの右ボタンをクリックして、出てきたメニューの中から [Series] (連続) をクリックする。
- ❷ ポインターをラベルエリアに移動し、連続番号を入れたい場所にポインターをセットしてください。



- ③ マウスをクリックしたまま、エリアが希望の大きさになるまでドラッグして下さい。



- ④ マウスボタンを離すと、Series Properties (連番プロパティ) ダイアログボックスが表示されます。



前頁記のダイアログボックスにある項目について説明します。

- [Begin String] は、連番の頭につける文字（記号）です。
- [End String] は、連番の後につける文字（記号）です。
- [Start Value] は、連番の開始番号です。
- [Stop Value] は、連番の終了番号です。
- [Step Value] は、連番の増分です。
- [Quantity] をクリックすると、設定された連番の数が [Range] の所に表示されます。
- [ALL] をクリックすると、現在使用するラベルの1シートに連番が全部貼りつけられます。
- 特定の枚数で連番を印字したい場合、[Range] をクリックして、[From]（開始ラベル）と [To]（終了ラベル）の所に数字を入力すると、指定した枚数で連番が印字されます。

- ⑤ 次の例では Series Properties（連続番号プロパティ）ダイアログボックスに、次の数値を入力します。

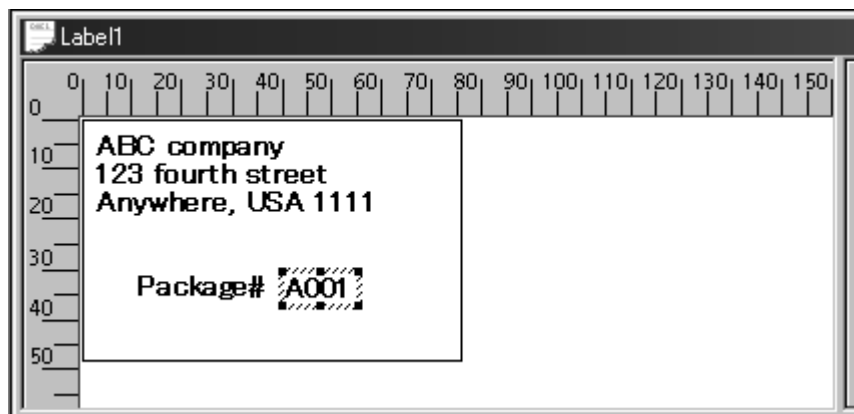
Start Value（開始数値） 1

Stop Value（終了数値） 10

Begin String（頭文字） A

- ⑥ [Quantity] をクリックしてから、[Create] をクリックしてください。

ラベルに最初の連続番号が表示されます。



連続番号を変更、または訂正するには、連続番号の上で左クリックした後、右クリックを押して Series Properties（連番プロパティ）ボックスに再度に開いてください。

現在の日付をラベルに挿入する

Date（日付）のアイテムを設定すると、お客様のコンピューターのカレンダーに基づいて、現在の日付が印字できます。

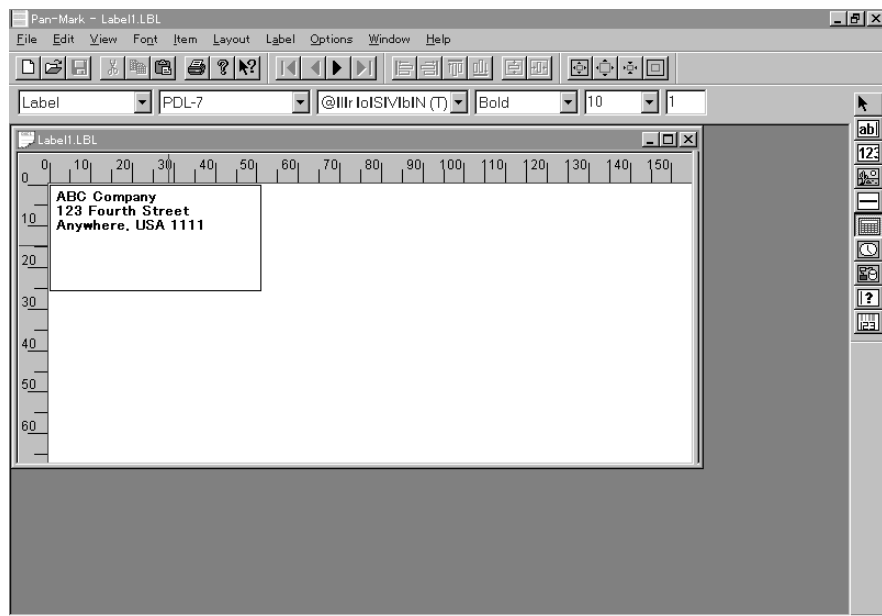


この機能を使用する場合、コンピューターのカレンダーの日付が正しくセットされていることを確認してください。

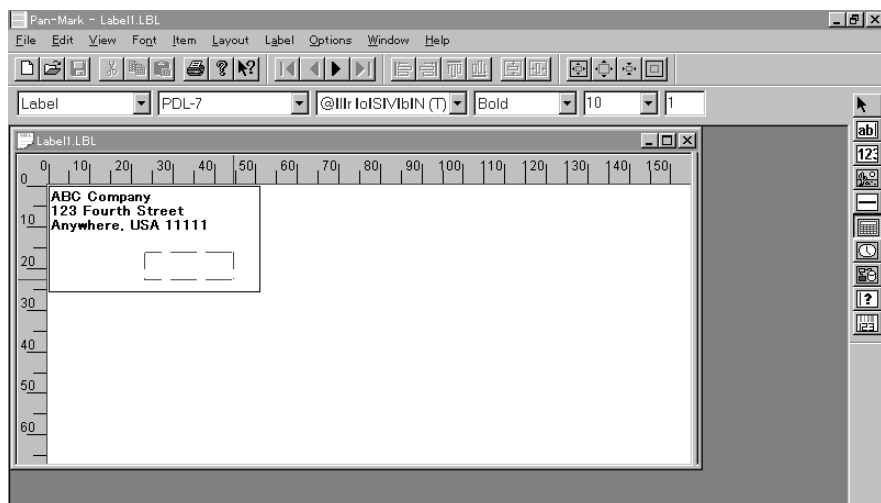
システムの日付や時間は、Windowsのコントロールパネルの中で変更されます。必要がある場合、Windows解説書をご参照して下さい。

ラベルに日付のアイテムを入力するには

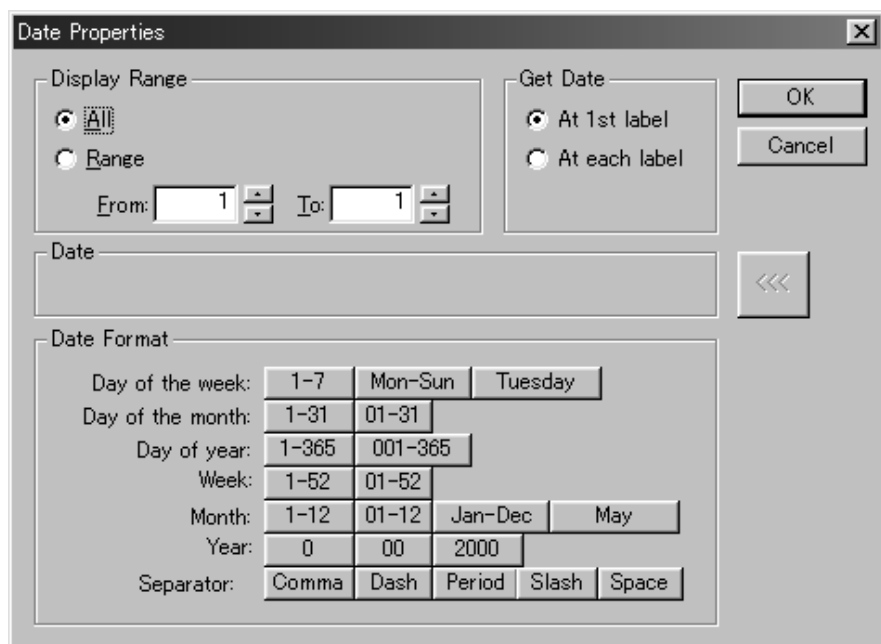
- ① 新規、または既存のラベルを開いて、次の中から一つの操作を行ってください。
 - ・ [Item]（アイテム）、[Dynamic]（変動）、[Date]（日付）と順にクリックする。
 - ・ アイテムバーの [Date]（日付）アイコンをクリックする。
 - ・ マウスの右ボタンをクリックして出てきたメニューの中から [Date] をクリックする。
- ② [Date]（日付）のポインターをラベルエリアの中に移動し、日付を入れたい場所にポインターをセットしてください。



- ③ マウスをクリックしたままドラッグし、エリアを希望のサイズにします。



- ④ マウスのボタンを離すと、Date Properties（日付プロパティ）ダイアログボックスが表示されます。



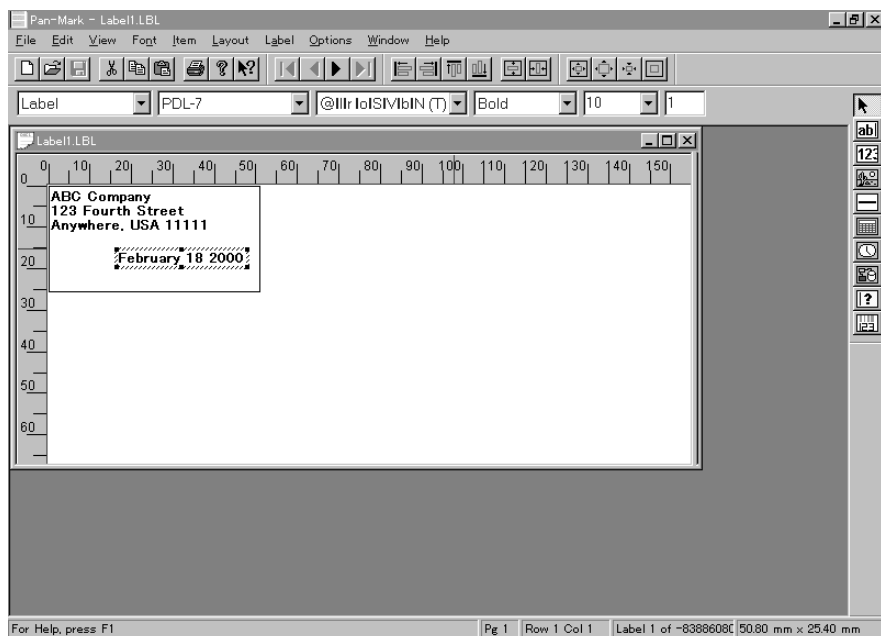
- ⑤ Date Format (日付のフォーマット) ダイアログボックスの中で希望の日付のフォーマットのボタンをクリックします。

例えば、8-15-96 (1996年8月15日) という日付のフォーマットを作るには

Month (月) : 1-12
 Separator (数字の間に入れる記号) : ダッシュ (-)
 Day of the Month (日) : 1-31
 Separator (数字の間に入れる記号) : ダッシュ (-)
 Year (年) : 96

ボタンをクリックすると、日付がDate (日付) グループに貼りつきます。変更する場合に、[<<<] ボタンをクリックして入力したものを消します。

- ⑥ [OK] をクリックしてください。日付の記号が表示されます。



アイテムの外でクリックし、または [F 5] キーを押してアイテムを確定してください。

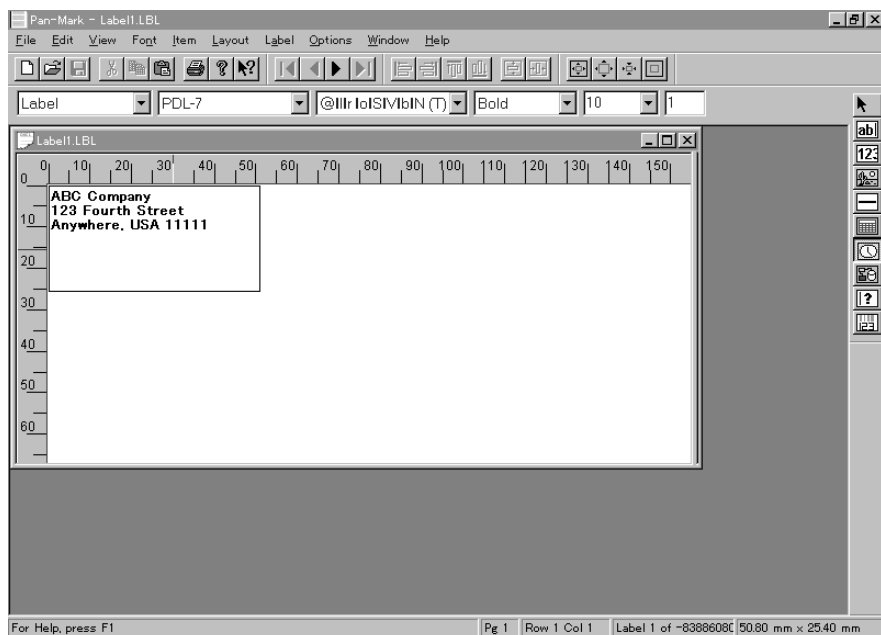
現在の時刻を挿入する

Time（時刻）アイテムをラベルに入れることにより、コンピュータの時計に基づいて現在の時刻が印字できます。

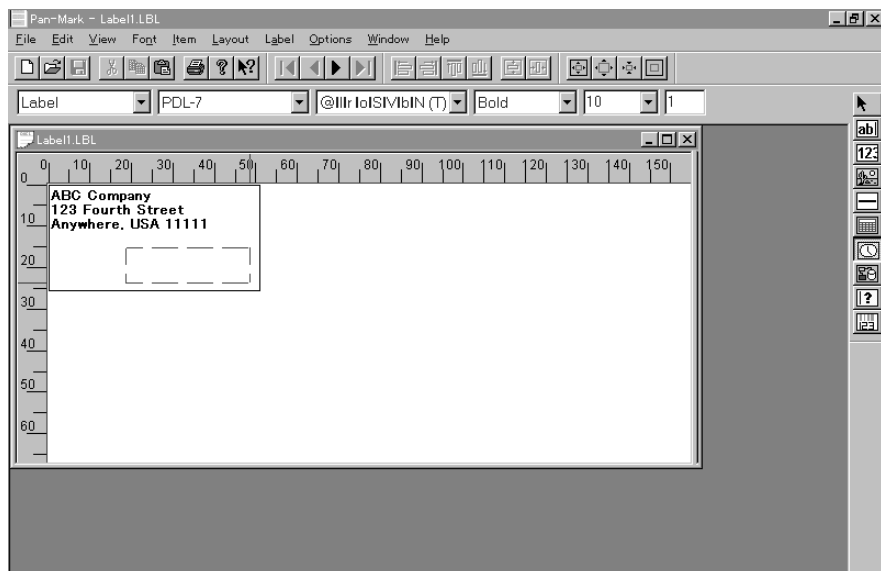
この機能を使用する際には、コンピュータの時計が正しく設定されているかを確認して下さい。

現在の時刻を入力するには

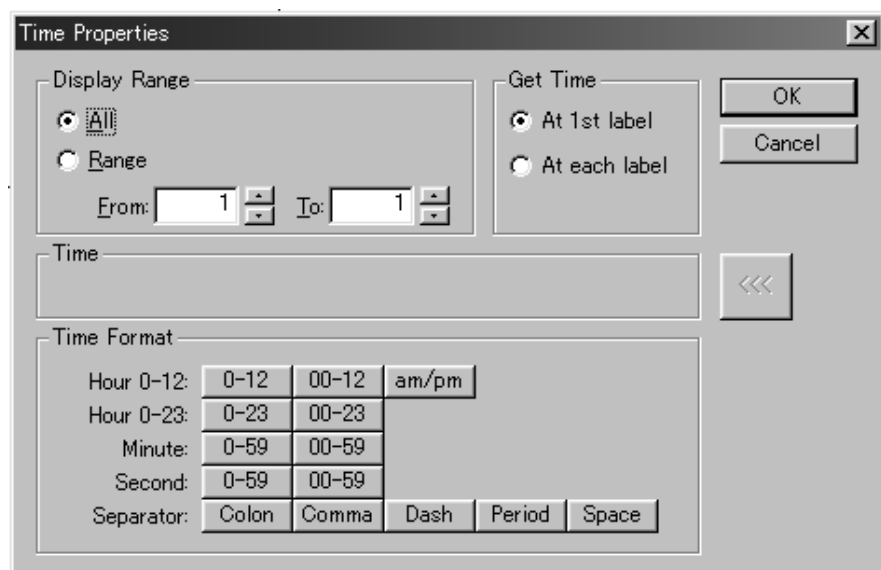
- ❶ 新規、または既存のラベルを開いて、次の中から一つの操作を行ってください。
 - ・ [Item]（アイテム）、[Dynamic]（変動）、[Time]（時刻）と順にクリックする。
 - ・ アイテムバーの [Time]（時刻）アイコンをクリックする。
 - ・ マウスの右ボタンをクリックして、出てきたメニューの中から [Time] をクリックする。
- ❷ Time（時刻）のポインターをラベルエリアの中に移動し、時刻を入れる場所にポインターをセットしてください。



- ③ マウスをクリックしたままドラッグして、アイテムエリアを希望のサイズにします。



- ④ マウスボタンを離すと Time Properties (時刻の特性) ダイアログボックスが表示されます。



- ⑤ Time Format（時刻のフォーマット）グループの中で希望の時刻にあたるもののボタンをクリックします。

例えば、9:43 AM（午前9時43分）という時刻のフォーマットを作るには：

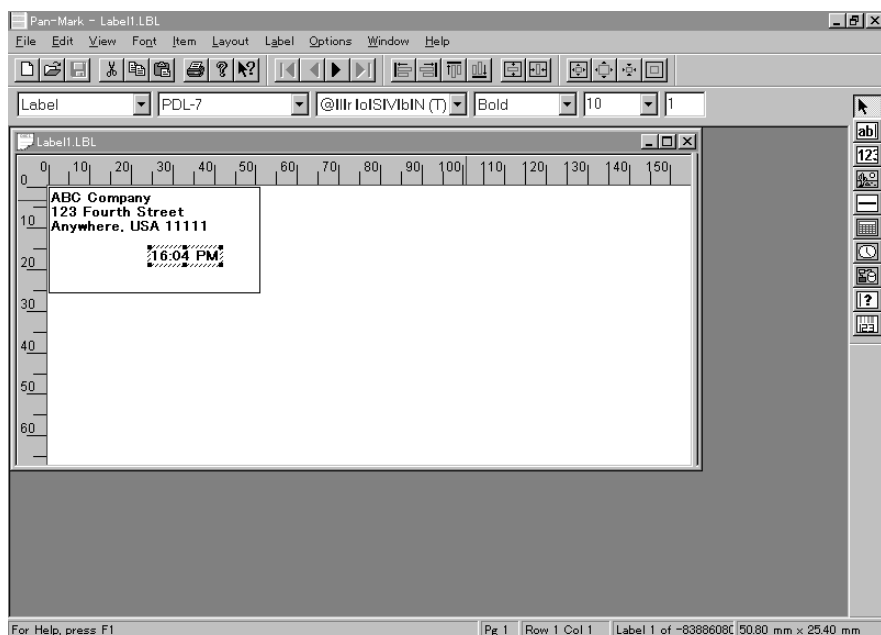
Hour（時間）	: 0-12
Separator（数字の間に入れる記号）	: コロン（:）
Minute（分）	: 00-59
Separator（数字の間に入れる記号）	: スペース
Hour（時間） 0-12	: am/pm

ボタンをクリックすると時刻がTime（時刻）グループに貼りつきます。変更する場合には、[<<<] ボタンをクリックし、入力したものを消します。

- ⑥ [OK] をクリックしてください。

- ⑦ ラベルに時刻が表示されます。

ポインターをアイテムの外側に持っていてクリックし、または[F 5] キーを押してアイテムを確定します。



ODBC によって外部データを挿入する

外部のデータベースからデータをラベルに挿入することができます。

Windows の Open Database Connectivity (ODBC - 外部データベースの接続) のインターフェイスを利用して、Excel (エクセル) や Access (アクセス) や dBASE (ディーベース) などで作ったデータベースにリンクさせ、ODBC アイテムとしてラベルにデータを挿入します。

具体的な手順については、下記のように説明します。

① マイクロソフト社の Excel でデータベースを作ります。

データベースを作るのに、次の原則を予め理解してください

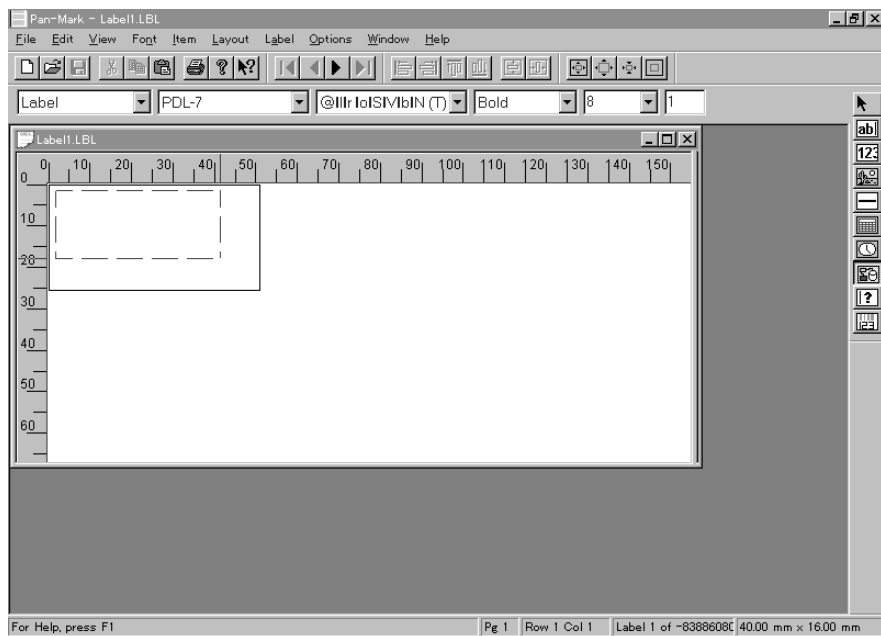
- 最初の行は、見出しと列名を記入してください。
- 2 行目からは、データを必ず文字型の書式で入力してください。
- Excel のファイルを名前を付けて適当なフォルダに保存してください。

② ODBC ヘデータソースを登録します。

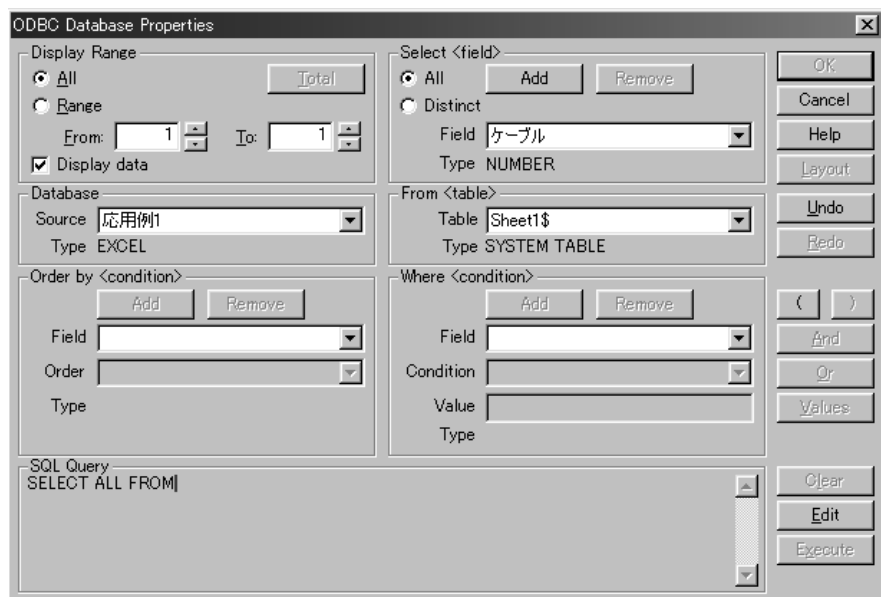
- 32 ビット ODBC を起動してください。
- [Add] をクリックし、Excel のドライバーを選択して、[完了] をクリックしてください。
- 新たなデータソース名を入力し、必要なコメントを入力してください。
- Excel のバージョンを確認してください。
- ブックの選択でフォルダー、ドライブ及びファイル名を指定してください。
- [OK] をクリックして全てを終了し、デスクトップへ戻ります。

③ データをラベルに挿入します。

- Pan-Mark を起動します。
- 使用するラベルを選択して、新規作成を実行します。
- ODBC アイテムをクリックして、ラベル内で枠を引きます。



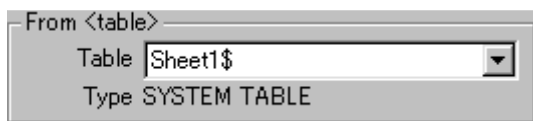
ODBC データベースプロパティのウィンドウが開きます。



- ④ [Database] の [Source] の中からデータソース名を選択してください。



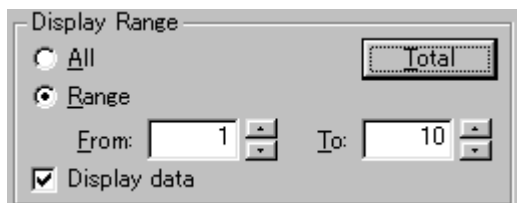
- ⑤ [From<table>] の中から Excel のシート名を選択してください。



- ⑥ [Select<field>] の中から見出しを選択して、[Add] をクリックしてください。



- ⑦ [Display Range] の中の [Total] をクリックすると、そのシートに保存されている行数が [Range] に表示されます。

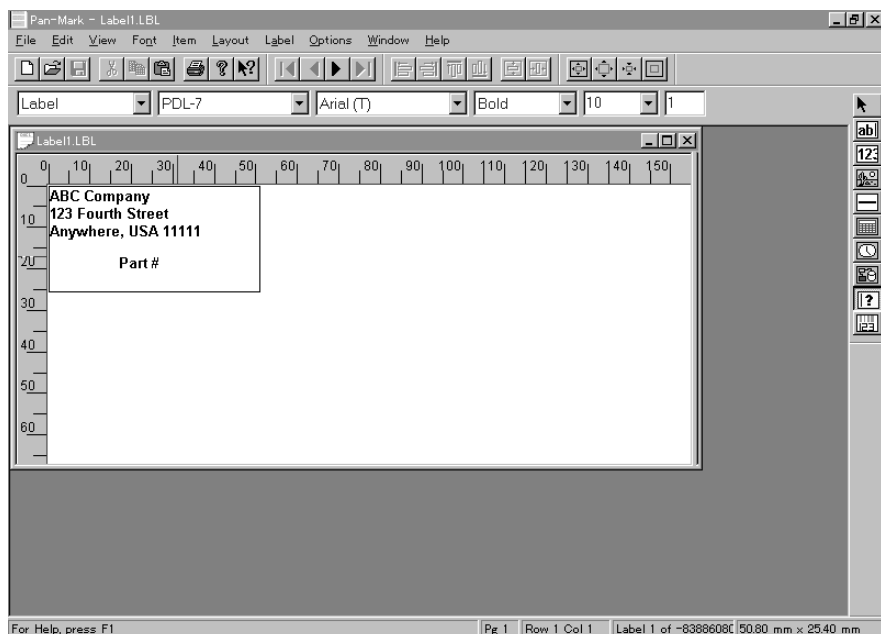


- ⑧ [OK] をクリックすると、ラベルの枠内にデータが挿入されます。

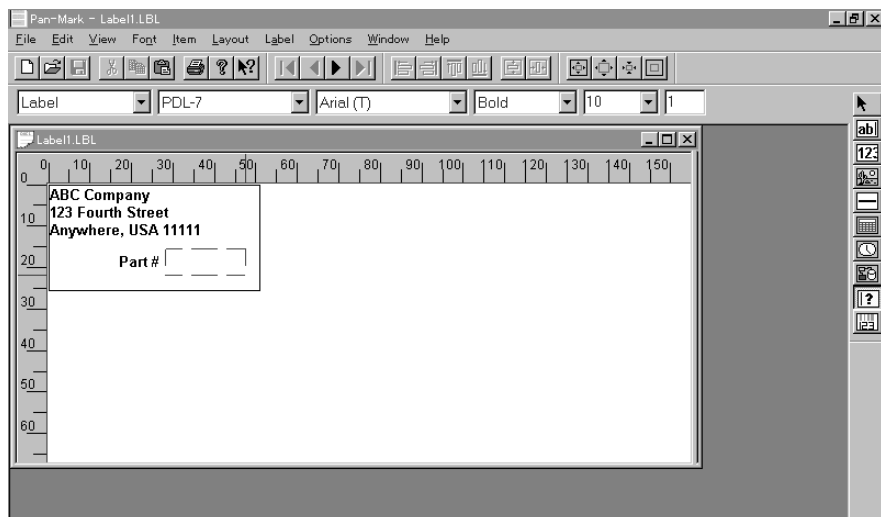
Input ダイアログボックスを使ってデータを印字する

印字時に、Input ダイアログボックスを使用して、印字したいデータを入力することができます。

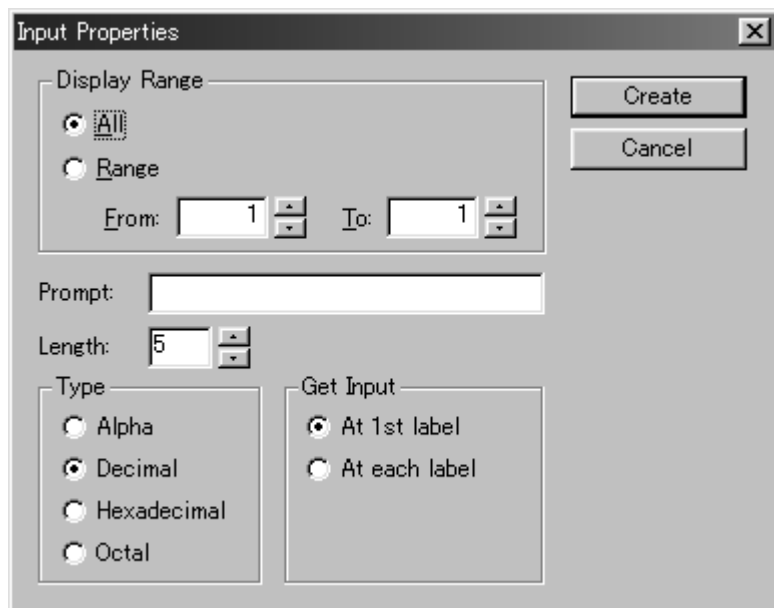
- ① 新規、または既存のラベルを開いて、次の中から一つの操作を行ってください。
 - ・ [Item] (アイテム)、[Dynamic] (変動)、[Input] (インプット) を順にクリックします。
 - ・ アイテムバーの [Input] (インプット) アイコンをクリックします。
 - ・ マウスの右ボタンをクリックして、出てきたメニューの中から [Input] (インプット) をクリックします。
- ② 入力のポインターをラベルエリアに移動し、入力を表示したい場所にポインターをセットしてください。



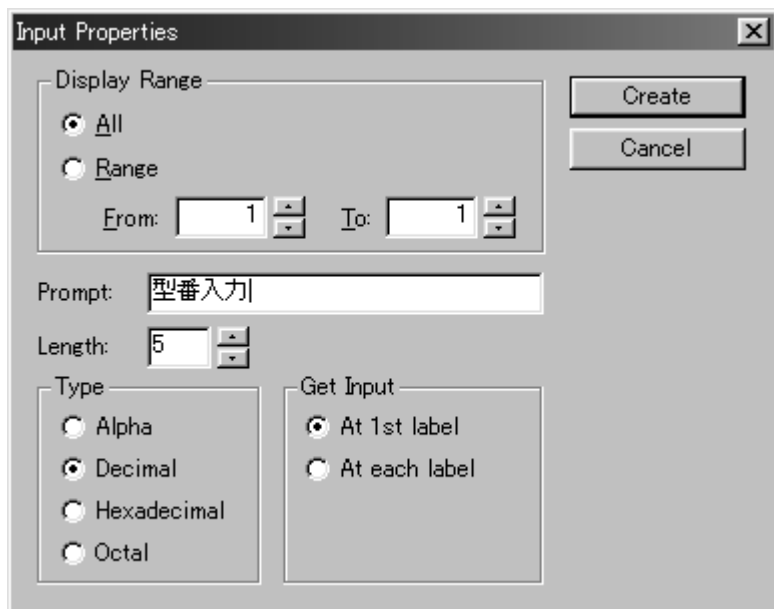
- ③ マウスをクリックしたままドラッグし、入力エリアを希望のサイズにしてください。



- ④ マウスボタンを離すと、Input Properties (インプットプロパティ) のダイアログボックスが表示されます。

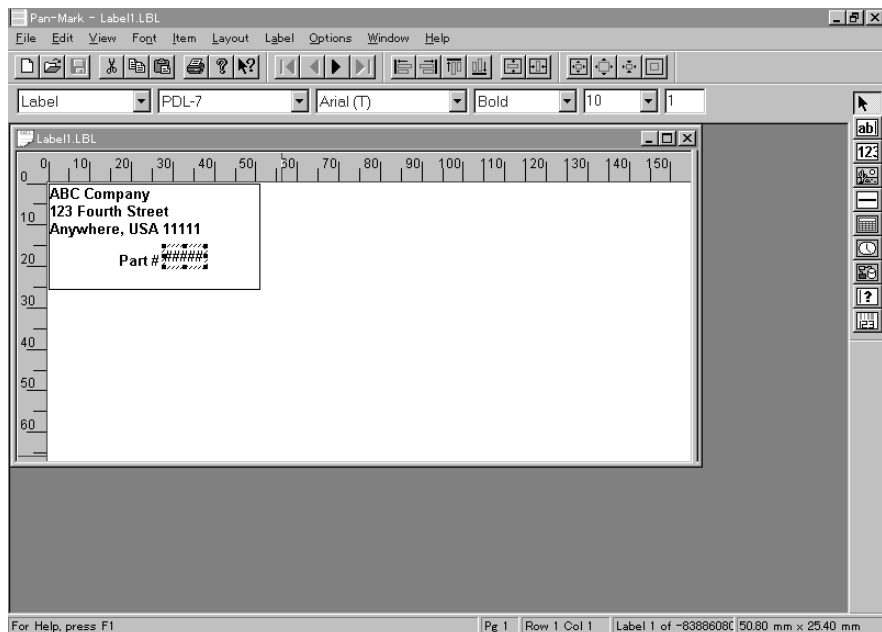


- ⑤ Prompt (プロンプト) に印字したい指定事項、例えば、製品番号などをその場で入力します。



- ⑥ Length (長さ) の所に入力文字の最長の桁数を入力してください。選択しない場合は10桁となります。
- ⑦ [Display Range] (表示範囲) を設定します。
- ⑧ [Create] をクリックします。

- ⑨ #####がインプットアイテムのシンボルとして表示されます。ポインターをアイテムエリアの外側にもっていきクリックしてください。または、「F5」キーを押してください。



印字を実行すると、[Input]（インプット）ダイアログボックスが表示され、そこで印字したいテキストを入力してください。



この入力アイテムは表示されません。

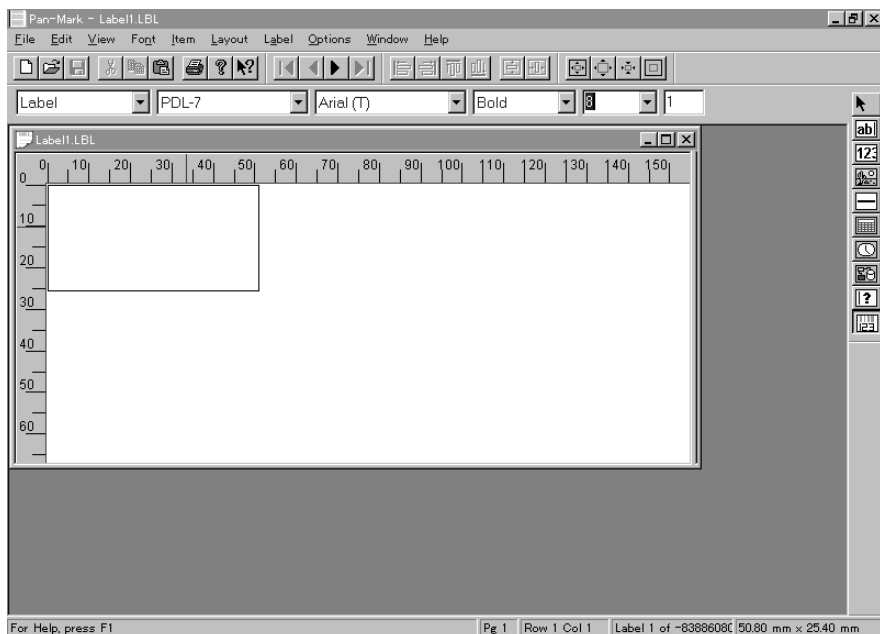
印字する直前に入力したデータが、実際に印字されます。

バーコードを作成する

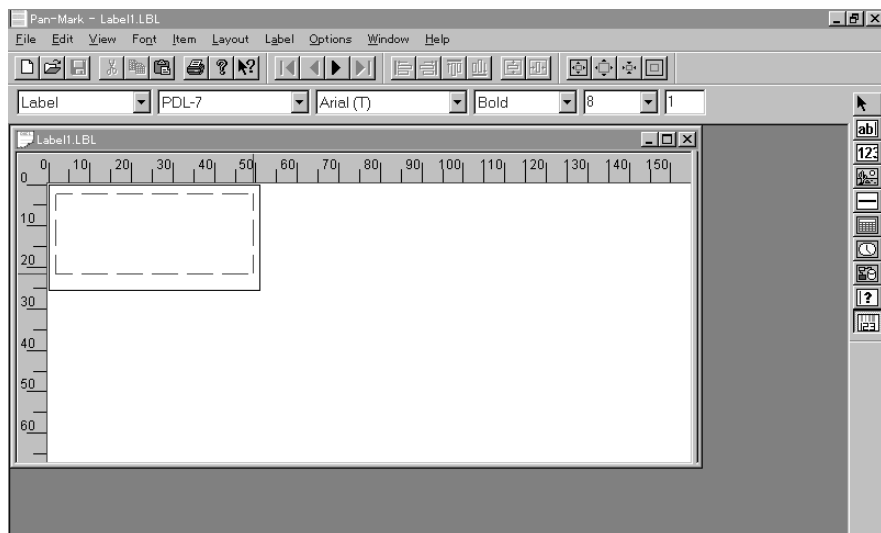
Windows 対応 Pan-Mark には、20 種類のバーコードが登録されています。

バーコードの作成方法は、以下の通りです。

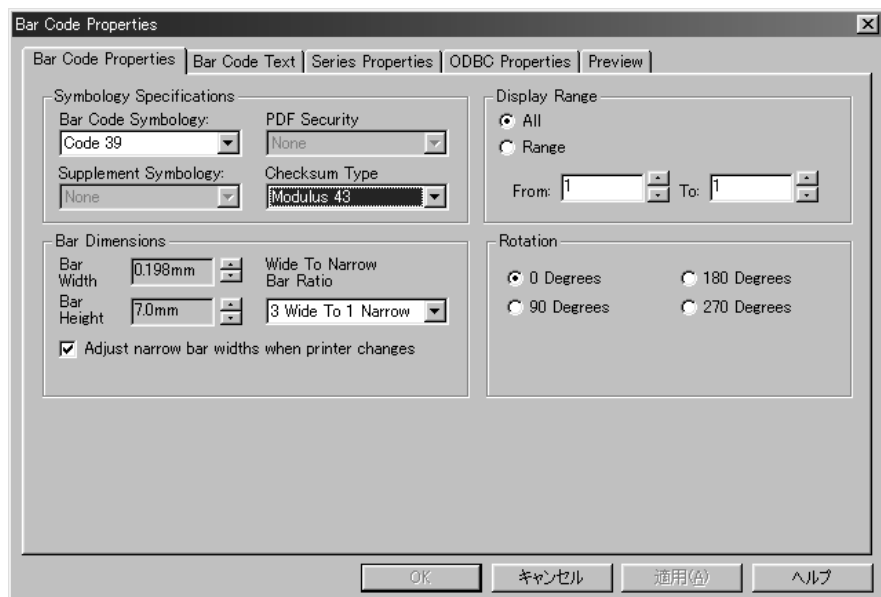
- ❶ 新規、または既存のラベルを開いて、次の中から一つの操作を行ってください。
 - ・ [Item] (アイテム)、[Dynamic] (変動)、[Bar Code] (バーコード) を順にクリックする。
 - ・ アイテムバーの [Bar Code] (バーコード) アイコンをクリックする。
 - ・ マウスの右ボタンをクリックして、出てきたメニューの中から [Bar Code] (バーコード) をクリックする。
- ❷ Bar Code のポインターをラベルエリアの中に移動し、バーコードを入力したい場所にポインターをセットしてください。



③ マウスの左ボタンを押しながらドラッグし、エリアを希望のサイズにします。



④ マウスのボタンを離すと、Bar Code Properties（バーコードプロパティ）ダイアログボックスが表示されます。



- ⑤ Symbology Properties ボックスの中から [Bar Code] のシンボルを選んでください。
- ⑥ [Bar Code Text] (バーコードテキスト) のボタンをクリックし、バーコードのテキストを入力します。

Bar Code Properties

Bar Code Properties | Bar Code Text | Series Properties | ODBC Properties | Preview

Bar Code Content

Bar Code Text: <JG105> <<<<

Supplement Text: <<<<

Human Readable Text: <JG105> <<<<

Human Readable Text: <<<<

AlphaNumeric Text:

JG105

NUL	SOH	STX	ETX	EOT	ENQ
ACK	BEL	BS	HT	LF	VT
FF	CR	SO	SI	DLE	DC1
DC2	DC3	DC4	NAK	SYN	ETB
CAN	EM	SUB	ESC	FS	GS
RS	US	FN01	FN02	FN03	FN04
SHIFT	DEL				

Reflect Typing Into

☒ Bar Code Text

☒ Bar Code Human Readable Text

☐ Supplement Text

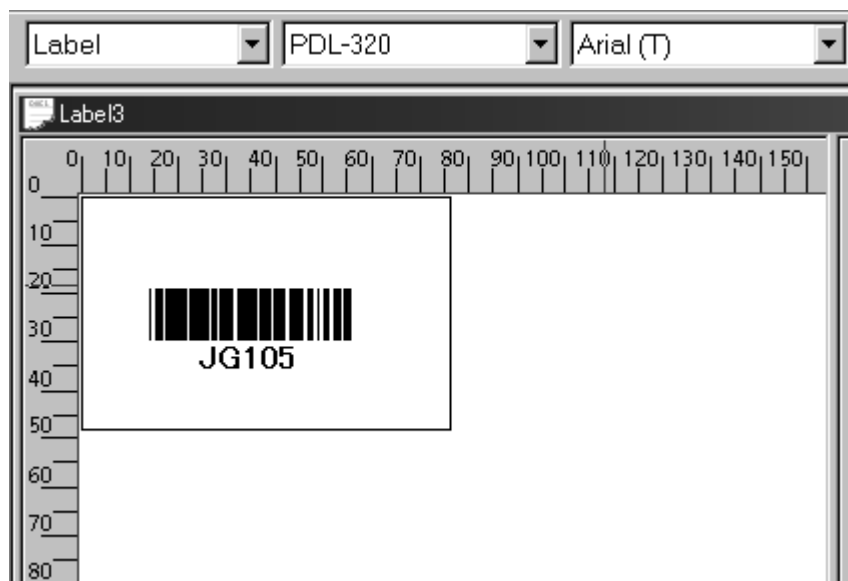
☐ Supplement Human Readable Text

OK キャンセル 適用(仮) ヘルプ

7 [Preview] (プレビュー) のボタンをクリックしてください。



8 [OK] をクリックすると、ラベルにバーコードが表示されます。



ヘルプメニュー

このメニューを使って本ソフトに関してオンラインヘルプを使うことができます。

[Help] (ヘルプ) をクリックし次の中から 1 つを選びます：

Contents (目次)	オンラインヘルプの内容についての一覧表を表示する。
Index (索引)	索引にアクセスして機能を見つけるアルファベット順の索引からトピックを探す。または、単語の見出しを見つけてトピックの検索を絞る。
Using Help (ヘルプの使用)	ヘルプの使い方。 ヘルプでのトピックの探し方、ヘルプトピックからの情報やコピー及び印字やその他についての説明。
About Pan-Mark (本ソフトについて)	本ソフトのバージョン、リリースナンバー、発表の日付を含んでいます。 本ソフトカスタマーサポートに電話をかけたときにこれらの情報について尋ねられることがあります。

付 録

この章の内容

1. コマンドメニューの一覧表

2. Wire Markers (ワイヤーマーカー) の作成

3. Pan-Mark2.14 以前のファイルのコンバート

付録1：コマンドメニューの一覧表

メニューバーのそれぞれのタイトルをクリックすると、以下のようなドロップダウンメニューが表示されます。

ファイルメニュー	フォーマットメニュー	編集メニュー	ビューメニュー
New Open Close Save Save As Print Print Preview Print Setup Exit	New Open Select Open Database	Cut Copy Paste Delete	Toolbars Standard bar Status bar Document bar Movement bar Alignment bar Items bar Zoom bar Format layout Label text Zoom Auto Fit In Out Normal Refresh
フォントメニュー	アイテムメニュー	レイアウトメニュー	ラベルメニュー
Typeface Color Foreground Background Rotate 0° 90° 180° 270°	Static Text Image Line Dynamic Series Date Time Data Input Bar Code Properties	Align Left Right Top Bottom Center Horizontal Vertical Both Size. Width Height Both	Properties Move To First Previous Next Last Insert Remove Operator Prompt
オプションメニュー	ウインドウメニュー	ヘルプメニュー	
Units Inches Millimeters Cut Here Mark ODBC Admin ODBC Editor ODBC Designer	New Windows Cascade Tile Arrange Icons	Contents Index Using Help About Pan-Mark	

付録2：Wire Markers（ワイヤーマーカー）の作成

Wire Markers（ワイヤーマーカー）について

ラベルに同じ文字を繰り返し印字することによって、ラベルをどのような太さのワイヤーに巻き付けても、印字した文字は判別できます。

Windows 対応 Pan-Mark では、この繰り返し印字を自動的に行います。

テキスト、または連続番号の情報を入力するだけで、あとは印字をするのみです。

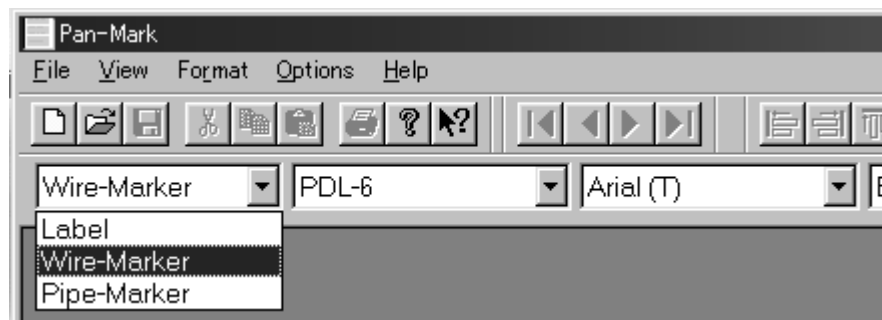
この情報についての例

- Static Text（固定のテキスト）
製品名や部品番号など（名前や番号がどのワイヤーマーカーにも共通のテキスト）
- Serial numbers（連続番号）
それぞれのワイヤーマーカー上で番号を繰り返すが、どのワイヤーも独自の番号を持っています。

テキストワイヤーマーカーの作成

作成するには

- ① 全てのラベルを閉じる。
- ② Document Type（ドキュメントタイプ）の [▼] をクリックし、Wire Marker（ワイヤーマーカー）を選んでください。



- ③ Format (フォーマット) の [▼] をクリックし、ワイヤーマーカーによく使われるラベルのフォーマットを選んでください。

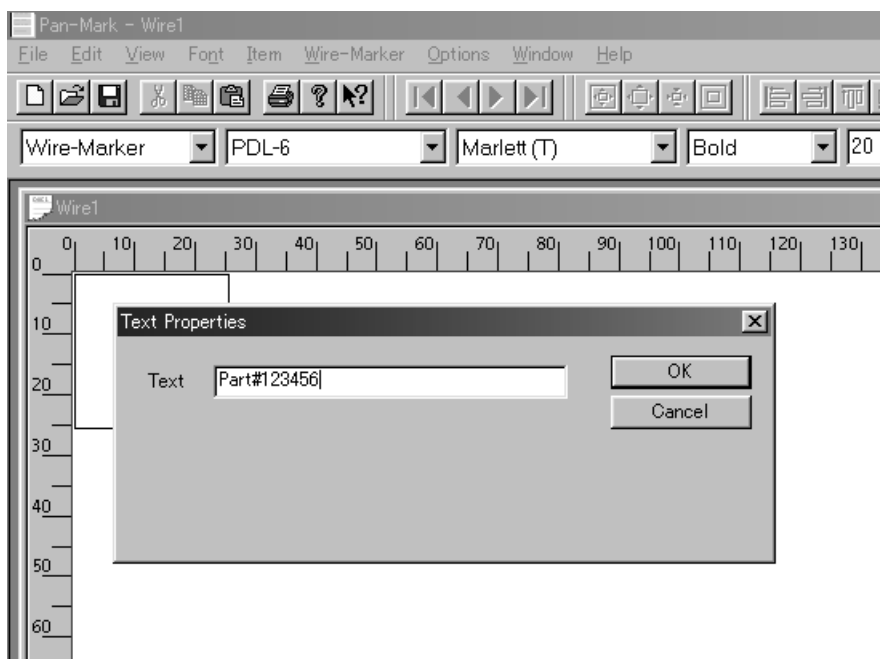
例えば、PDL-6。

- ④ [File] (ファイル)、[New] (新規作成) を順にクリックしてください。または、Standard Tool Bar (スタンダードツールバー) の中から [New] (新規作成) アイコンをクリックします。

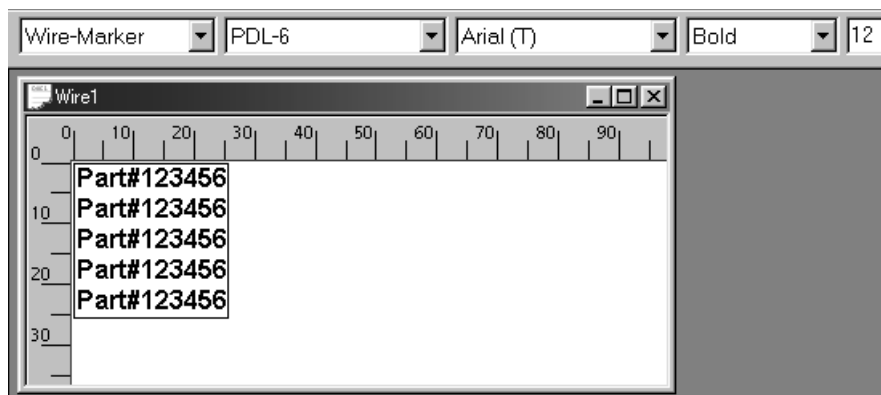
空欄のワイヤーマーカーが表示されます。

- ⑤ Item Bar (アイテムバー) の中の [Text] (テキスト) アイコンをクリックしてください。

- ⑥ Text Properties (テキストプロパティ) ダイアログボックスが表示されます。Text (テキスト) の欄に Part#123456 とタイプします。



[OK] をクリックすると、下記のようにラベルに表示されます。ラベル上で打ち出される行数は、ラベルとフォントサイズによって決定されます。



連続番号ワイヤーマーカーの作成

連続番号のワイヤーマーカーを作成するには

- ① 全てのラベルを閉じてください。
- ② Document Type (ドキュメントタイプ) の [▼] をクリックして WireMarker (ワイヤーマーカー) を選択してください。
- ③ Label Format (フォーマット) の [▼] をクリックし、ワイヤーマーカーによく使われるラベルのフォーマットを選んでください。
例えば、PDL-6。
- ④ [File] (ファイル)、[New] (新規作成) をクリックしてください。または、Standard Tool Bar (スタンダードツールバー) の中から [New] (新規作成) アイコンをクリックしてください。
空欄の PDL-6 のラベルが表示されます。
- ⑤ Item Bar (アイテムバー) の中の [Series] (連続番号) アイコンをクリックしてください。Series Properties (連続番号のプロパティ) ダイアログボックスが表示されます。

- ⑥ Start Value（開始数）のフィールドでクリックし、001と打ち込みます。ワイヤーマーカーの連番の設定はラベルの場合と同様です。（80ページ参照）
- ・アルファベットの連番の場合、例えばA A A、A A B、A A CではStart Value（開始数）にA A Aと入力してください。
 - ・001、002、003などの連番の場合、Start Value（開始数）に001と入力してください。
- ⑦ 100枚のラベルが必要なのでStop Value（終了数）のフィールドで100と入力してください。
- ⑧ Begin String（先頭文字）のフィールドでクリックしA B Cと入力します。



印字されるワイヤーマーカーの合計数を調べるには [Quantity]（数量）をクリックしてください。

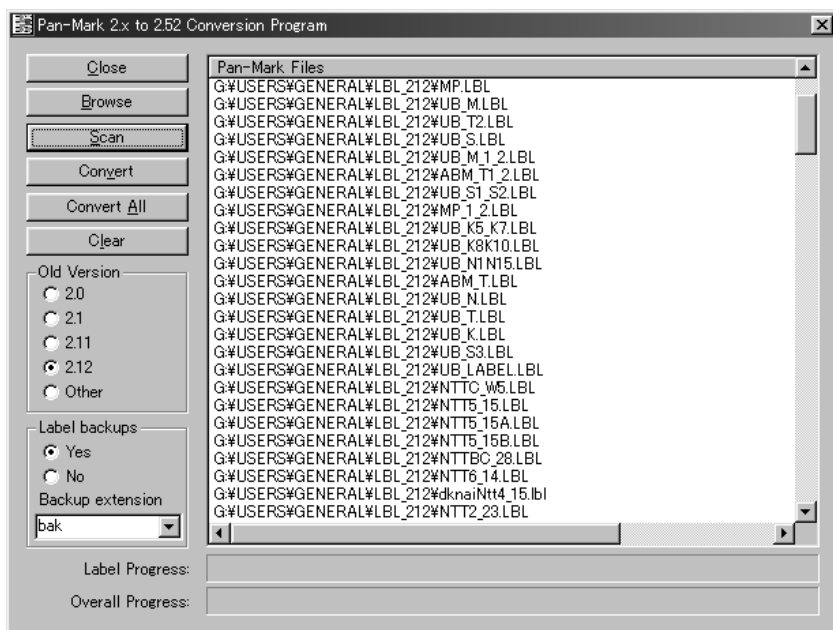
- ⑨ [OK] をクリックし、Serial Properties（連続番号のプロパティ）のダイアログボックスを閉じます。
- ワイヤーマーカーのラベルは、複数行の連続番号を表示します。
- ラベル上で打ち出される行数は、ラベルとフォントサイズによって、決定されます。

付録3：既存ファイルのコンバート

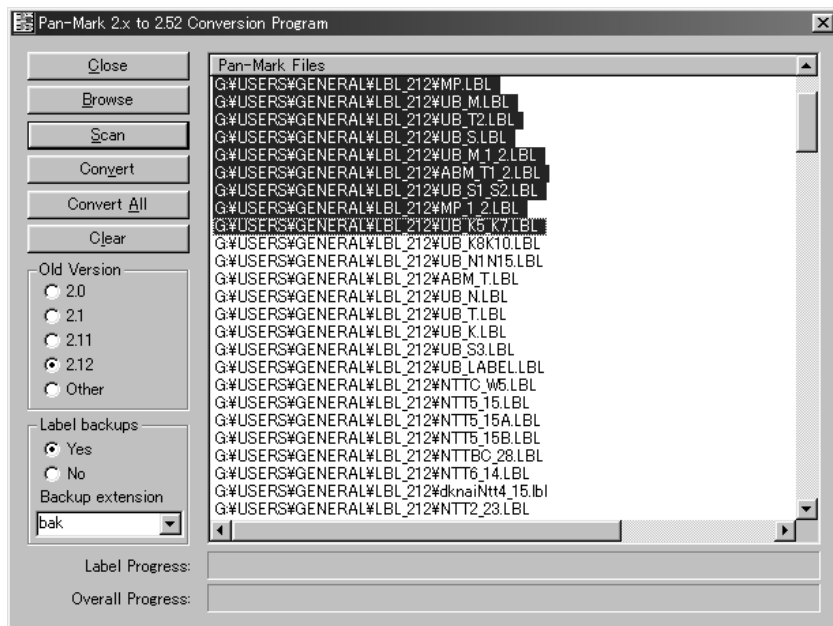
Windows 対応 Pan-Mark2.14 以前のバージョン（Pan-Mark2.14 は含まない）で作ったファイルを Pan-Mark2.5 バージョンで使用する場合、既存のファイルをコンバートする必要があります。

コンバートするには

- ① [Pan-Mark for Windows2.5] フォルダにあるコンバートプログラム [Convert 2.x To 2.5] をクリックしてください。
次の画面が表示されます。



- ② 一部のファイルをコンバートする場合、ラベルを選択した後に [Convert]（変換）をクリックしてください。
また、すべてのファイルをコンバートする場合、[Convert All]（すべて変換）をクリックしてください。



- ③ コンバージョンが完了したら、確認の画面が表示されます。[OK] をクリックしてください。

コンバージョン済みのラベルが Windows 対応 Pan-Mark2.5 で使用する準備ができました。

本製品に関するご質問は、
下記のお電話にお問い合わせください。

03-3767-7011



本 社	〒143-0016 東京都大田区大森北6-31-5	☎(03)3767-7011	FAX(03)5762-7736
名古屋営業所	〒460-0008 名古屋市中区栄5-22-7 坪井南久屋ビル	☎(052)242-2381	FAX(052)261-6359
大阪営業所	〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-16-15 NSビル	☎(06)6338-1394	FAX(06)6384-0798
大宮営業所	〒330-0021 埼玉県大宮市東大宮4-2-8 スズキビル	☎(048)668-0471	FAX(048)668-0551
福岡営業所	〒815-0035 福岡県福岡市南区向野1-5-26-402	☎(092)552-5400	FAX(092)552-5405

★インターネットのホームページは<http://www.panduit.com/jp/>です。